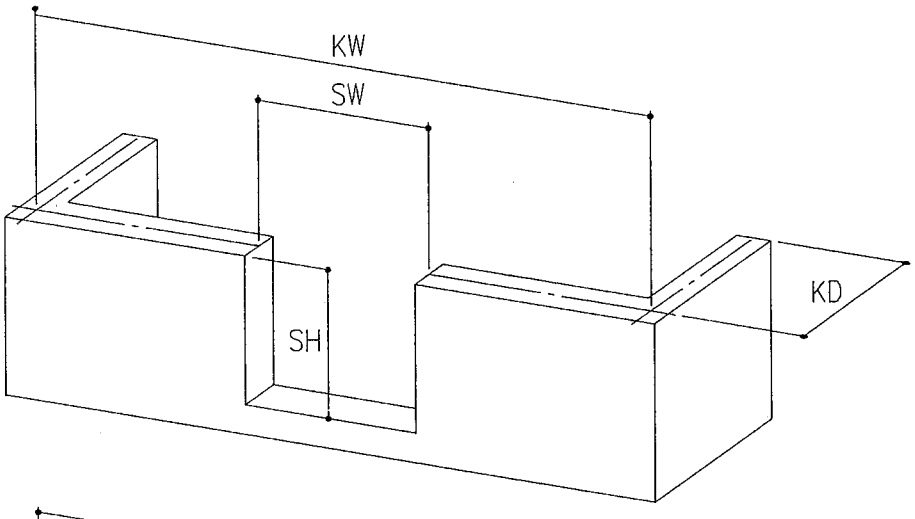
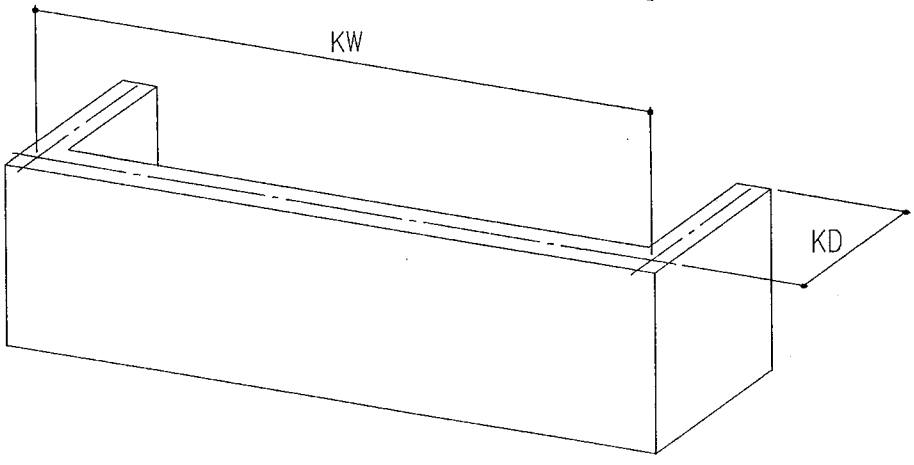
加工図　＜記号の意味＞

KW ： 間口パラペット芯々寸法
KD ： 出巾パラペット芯から壁面寸法
SW ： 軀体堀込み間口寸法
SH ： 軀体堀込み高さ寸法
H ： 高さ
L ： 切断寸法
P ： ピッチ寸法
n ： 数値
S ： パネルの枚数
W ： 柱芯々寸法　（A3,B3,Hタイプ）
W1 ： 柱芯々寸法
PH ： パネル枠高さ寸法
PW ： パネル枠巾寸法

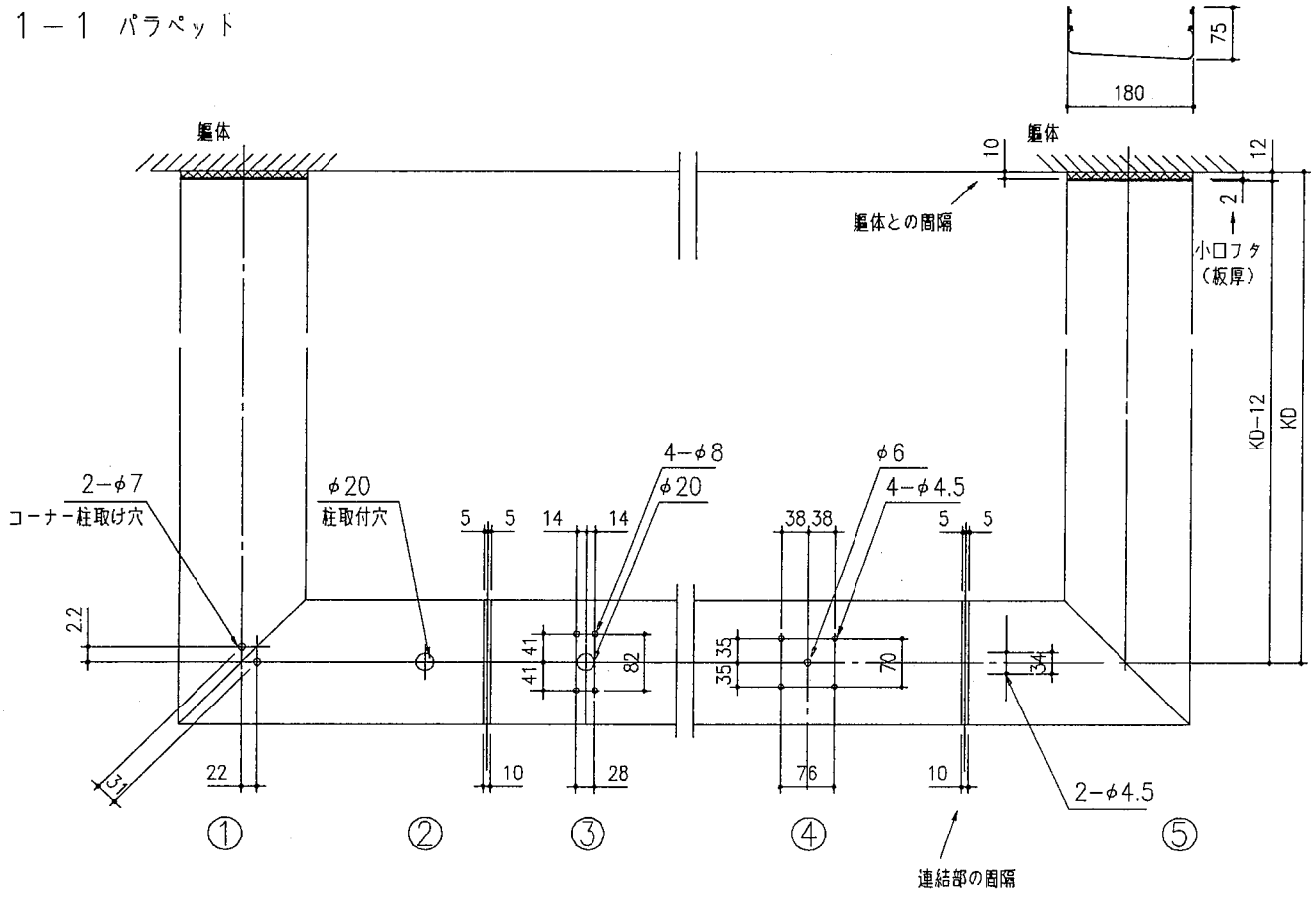
※パラペットのクリアランスは、コーキング巾１０mm+小口フタ２mmとし、軀体の出巾（KD）マイナス12mmとしています。
※パラペットの連結部は１０mm（片側５mmずつ）開けて切断してください。
※パラペット、笠木の穴明けは、柱位置に明けてください。（A３、B３、Hタイプ笠木除く）
※笠木の軀体側の穴明けは、壁付けブラケット（YBBOX21,YBBOX40M）を使用した場合の加工図です。





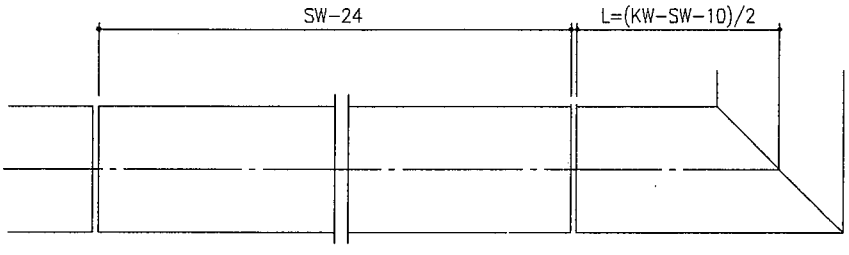
加工図 ＜パラペット＞

1－1 パラペット



○ A2,B2タイプ（パラペット）切断寸法公式

SW＝躯体掘込部巾（P156参照）



① 部は、コーナー柱を使用した場合の加工です。

② 部は、柱（25X40）を使用した場合の加工です。

③ 部は、柱（55X55）を使用した場合の加工です。

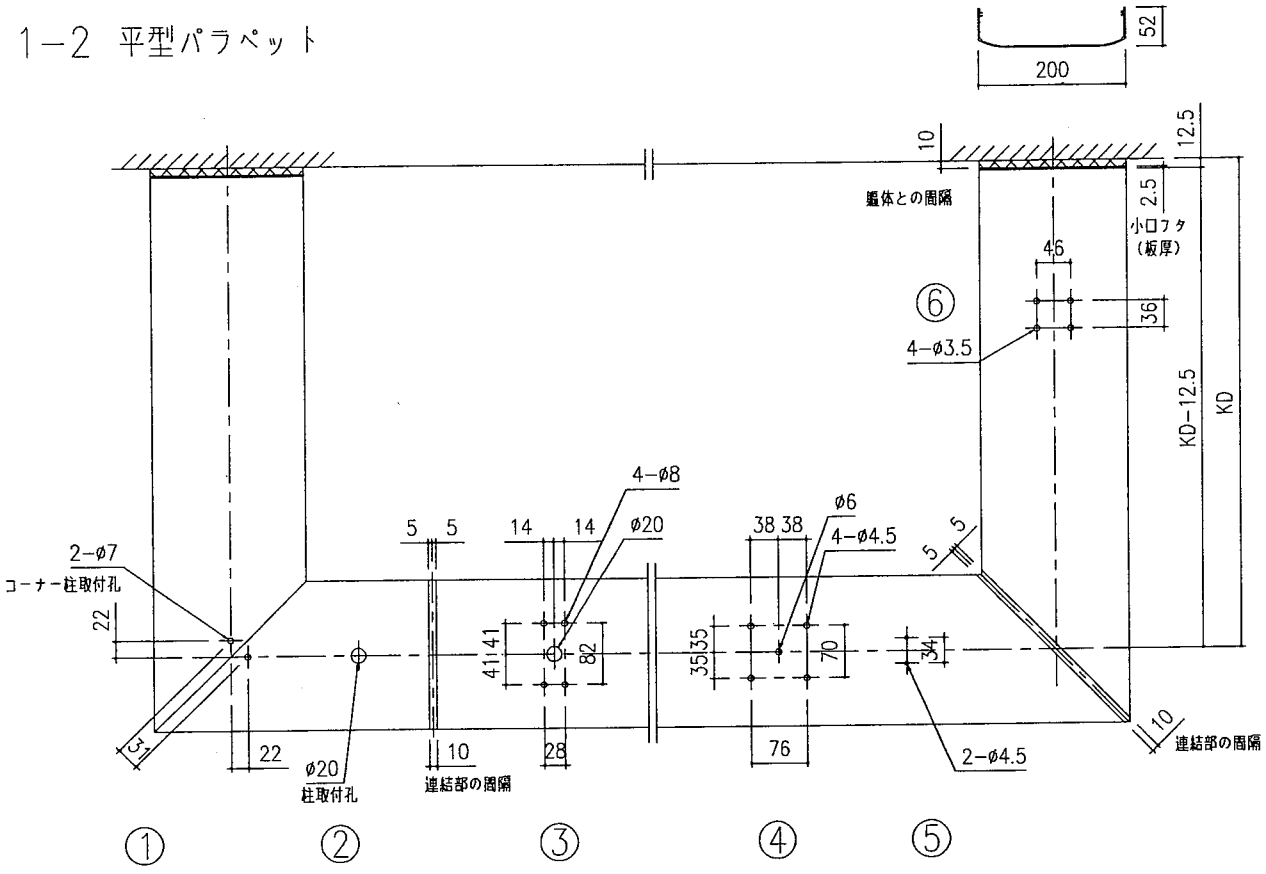
④ 部は、鋳物腕木を使用する場合の加工です。

⑤ 部は、柱（25x40）をビスで固定する場合の加工です。

※ 柱位置に合わせて、各柱用の加工してください。

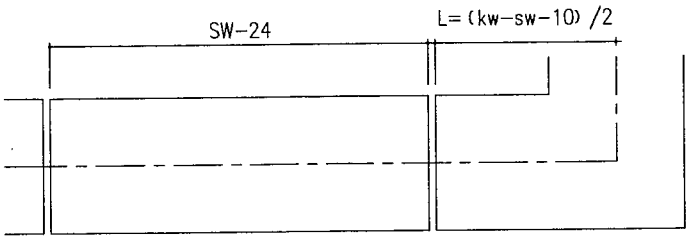
加工図 <パラペット>

1−2 平型パラペット



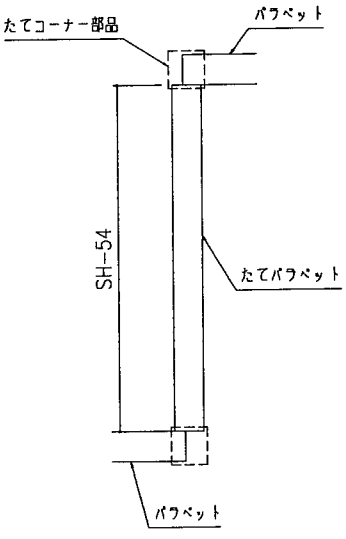
○ A2、B2タイプ（パラペット）切断寸法公式

SW＝躯体掘込部巾



○ たてパラペット切断寸法公式

SH＝躯体掘込部高さ

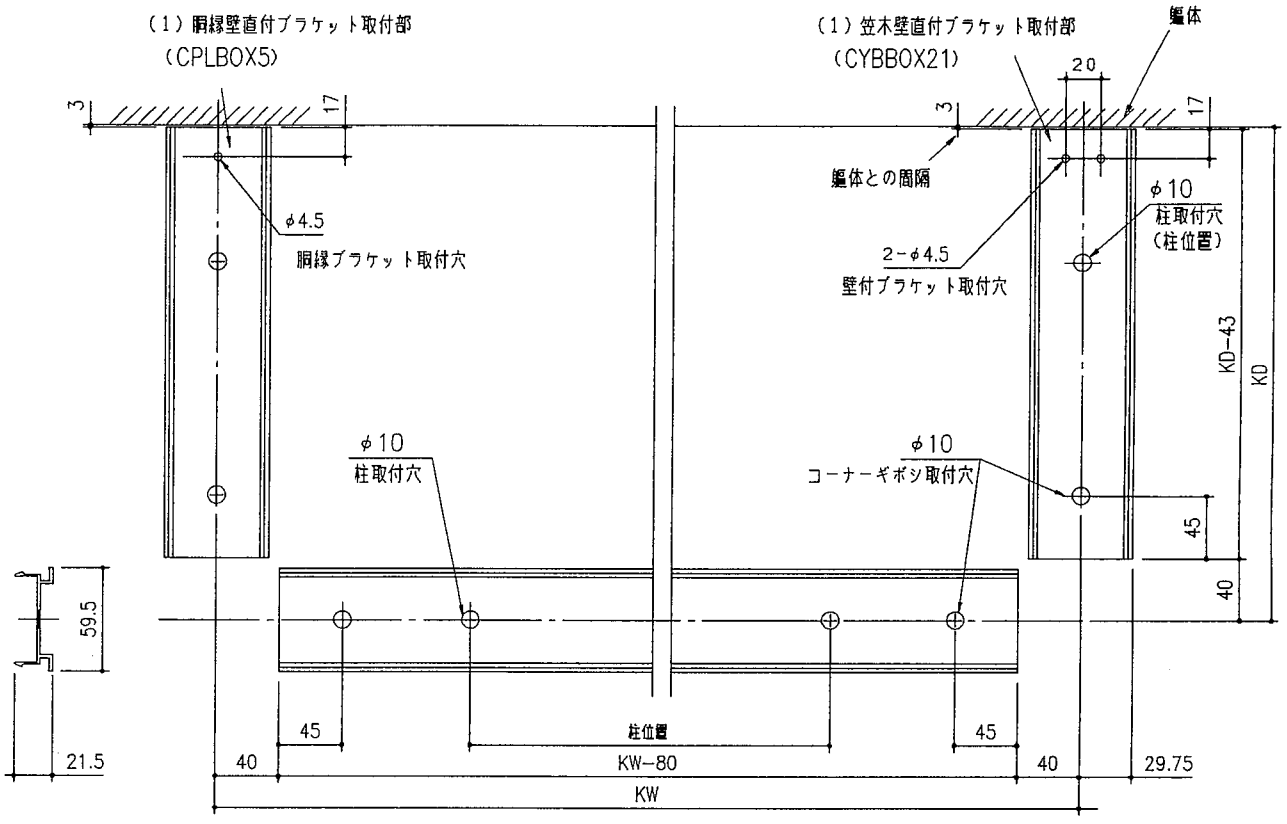


① 部は、コーナー柱を使用した場合の加工です。
② 部は、柱（25×40）を使用した場合の加工です。
③ 部は、柱（55×55）を使用した場合の加工です。
④ 部は、鋳物腕木を使用した場合の加工です。
⑤ 部は、柱（25×40）をビスで固定する場合の加工です。
⑥ 部は、木調笠木用腕木を使用した場合の加工です。

※ 柱位置に合わせて、各柱用の加工をしてください。

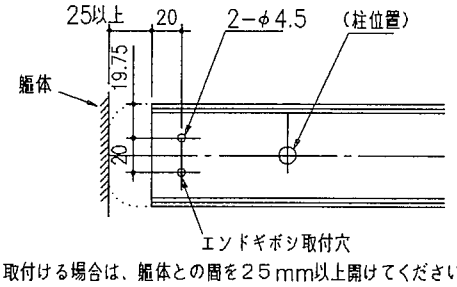
加工図 ＜標準笠木＞

2－1 笠木



2－2 笠木エンドギボシ（CYBBOX22）

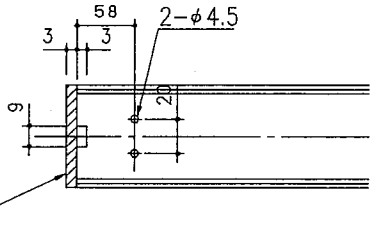
※躯体側エンドギボシ場合



※エンドギボシを取付ける場合は、躯体との間を２５mm以上開けてください。

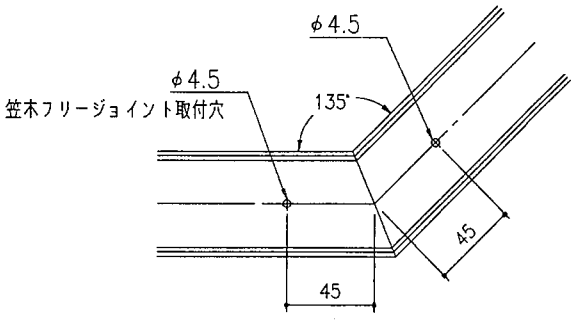
2－3 笠木ジョイントセット（CPLBOX2）

※本図は右を示す、左は対称とする。



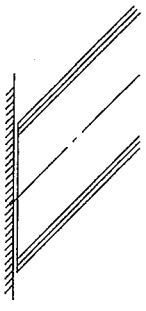
※連結プレートで固定する場合、笠木を３mm短く切断してください。

2－4 笠木フリージョイント（CPLBOX16）



※笠木フリージョイントを取付ける場合は、格子の間隔を１１０mm以内にしてください。

2－5 笠木壁直付角度自在ブラケット（NBLBOX4）

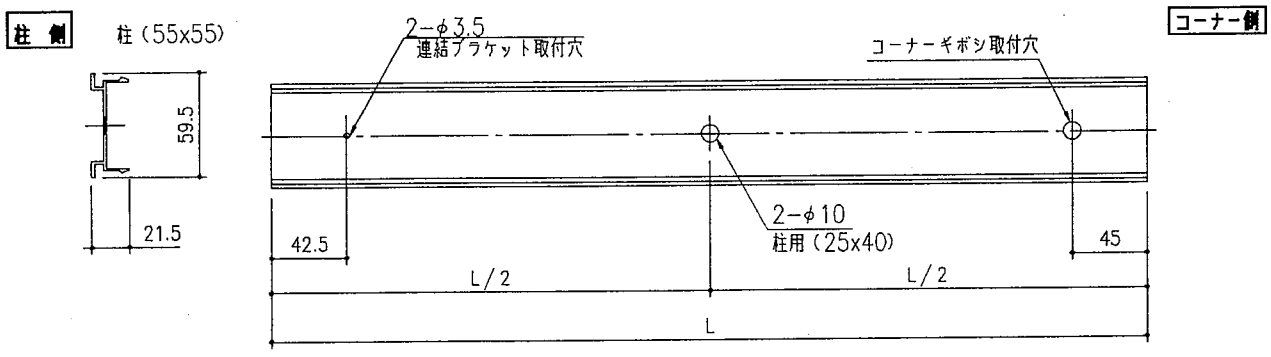


※笠木壁直付角度自在ブラケットに合わせて,テックスビスにて固定してください。

加工図 ＜標準笠木、笠木カバー＞

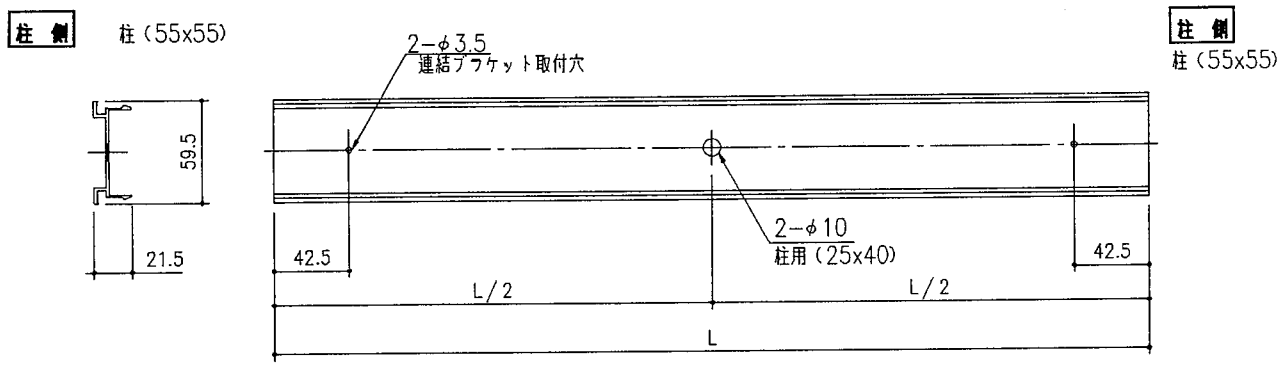
2－6 A3・B3・H タイプ笠木（格子パネル）除く）

公　式
L＝W－56



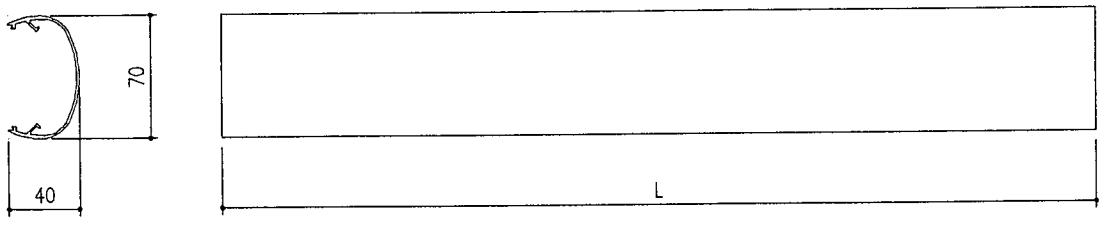
2－7 A3・B3・H タイプ笠木（格子パネル）除く）

公　式
L＝W－56



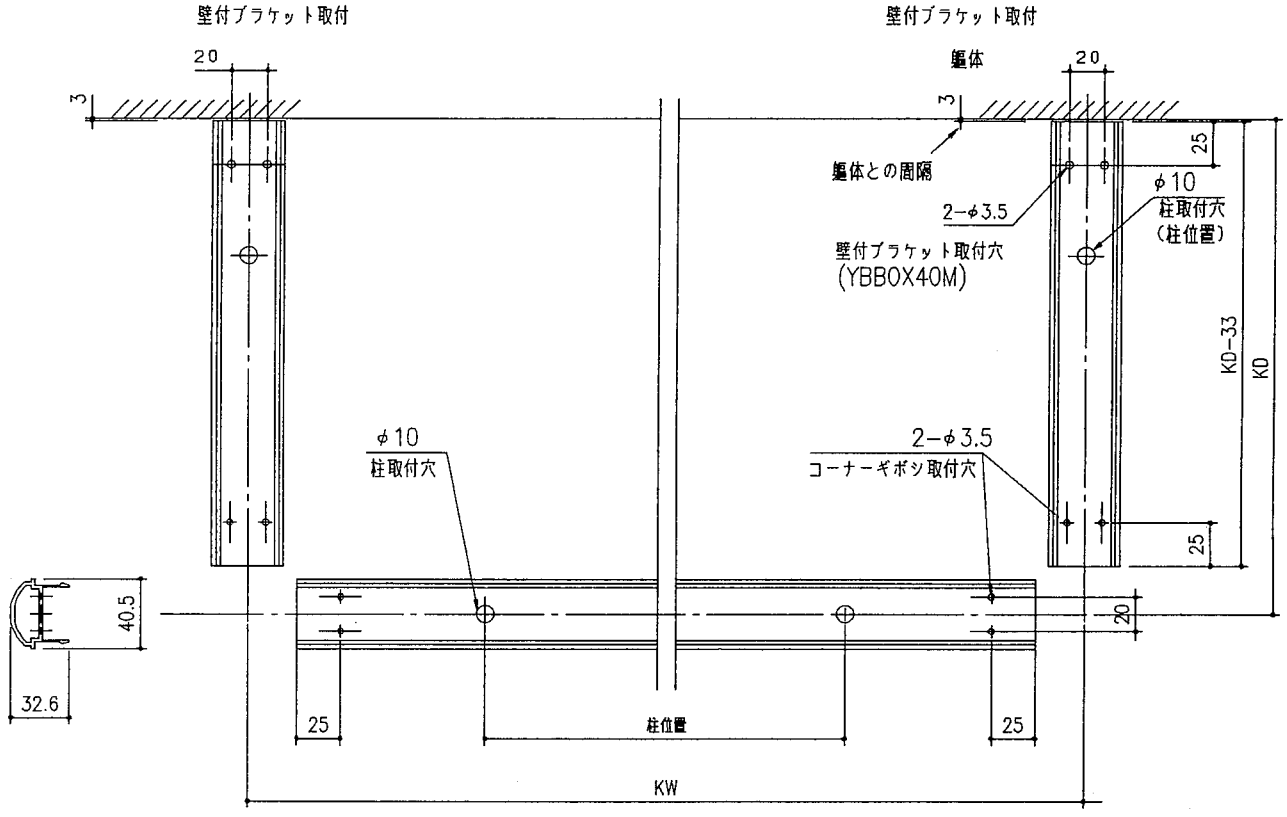
2－8 A・B・C・D・Hタイプ 笠木カバー

公　式		
Aタイプ	片側コーナーギボシ	両側コーナーギボシ
L＝W	L＝KW－43 L＝KD－43	L＝KW－80



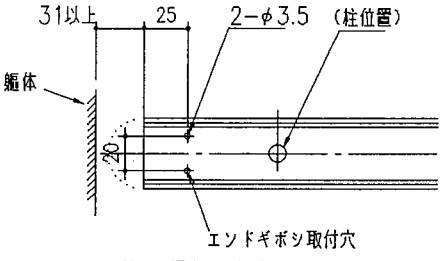
加工図 ＜笠木＞

3－1 丸笠木



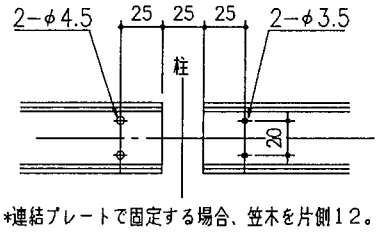
3－2 丸笠木（出巾）躯体側

※躯体側エンドギボシ場合（CYBBOX23M）



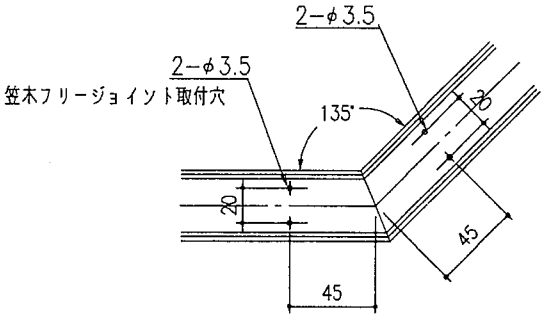
※エンドギボシを取付ける場合は、躯体との間を３１mm以上明けてください。

3－3 笠木連結プレート（CYBBOX41M）

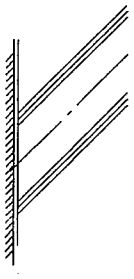


*連結プレートで固定する場合、笠木を片側１２。５mm短く切断してください。

3－4 笠木フリージョイント（CPLBOX16）



3－5 笠木壁直付角度自在ブラケット（NBLBOX4）

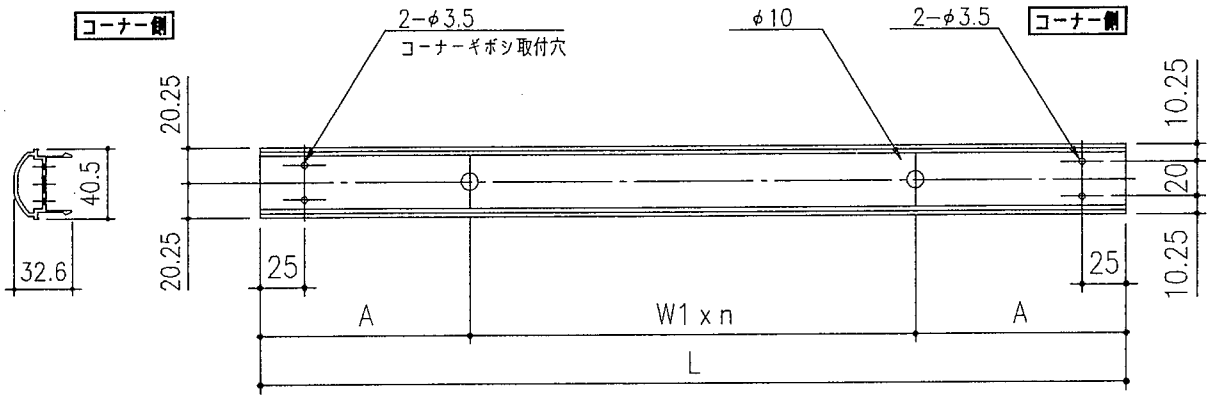


※笠木壁直付角度自在ブラケットに合わせてテックスにて固定してください。

加工図 ＜丸笠木、丸笠木カバー＞

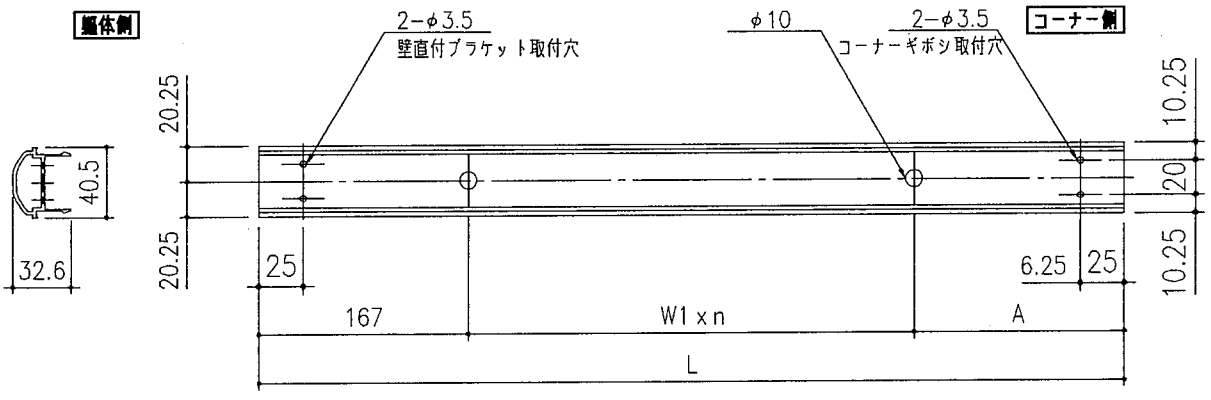
3－6 Gタイプ 鋳物腕木用 丸笠木（間口）

タイプ	A 寸法	公　式
1段腕木タイプ	A＝(L－W1 x n)／2	L＝KW＋ 19
2段腕木タイプ（上）		L＝KW＋140
2段腕木タイプ（下）		L＝KW－ 84



3－7 Gタイプ 鋳物腕木用 丸笠木（出巾）

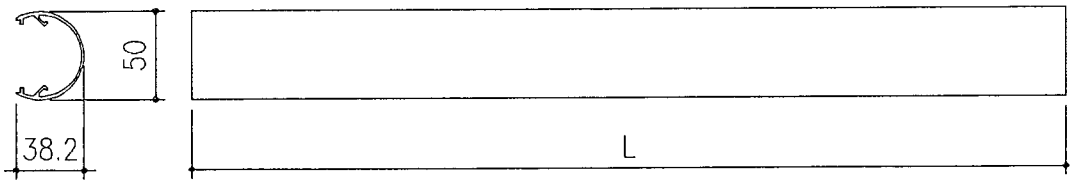
タイプ	A寸法	公　式
1段腕木タイプ	199.5	L＝KD＋ 6.5
2段腕木タイプ（上）	260	L＝KD＋67
2段腕木タイプ（下）	148	L＝KD－39



3－8 A・B・C・Gタイプ 丸笠木カバー

公　式				
Aタイプ	Bタイプ	Gタイプ 1段腕木	Gタイプ 2段腕木（上）	Gタイプ 2段腕木（下）
L＝W	L＝KW－60 L＝KD－33	L＝KW＋19 L＝KD＋ 6.5	L＝KW＋140 L＝KD＋ 67	L＝KW－84 L＝KD－39

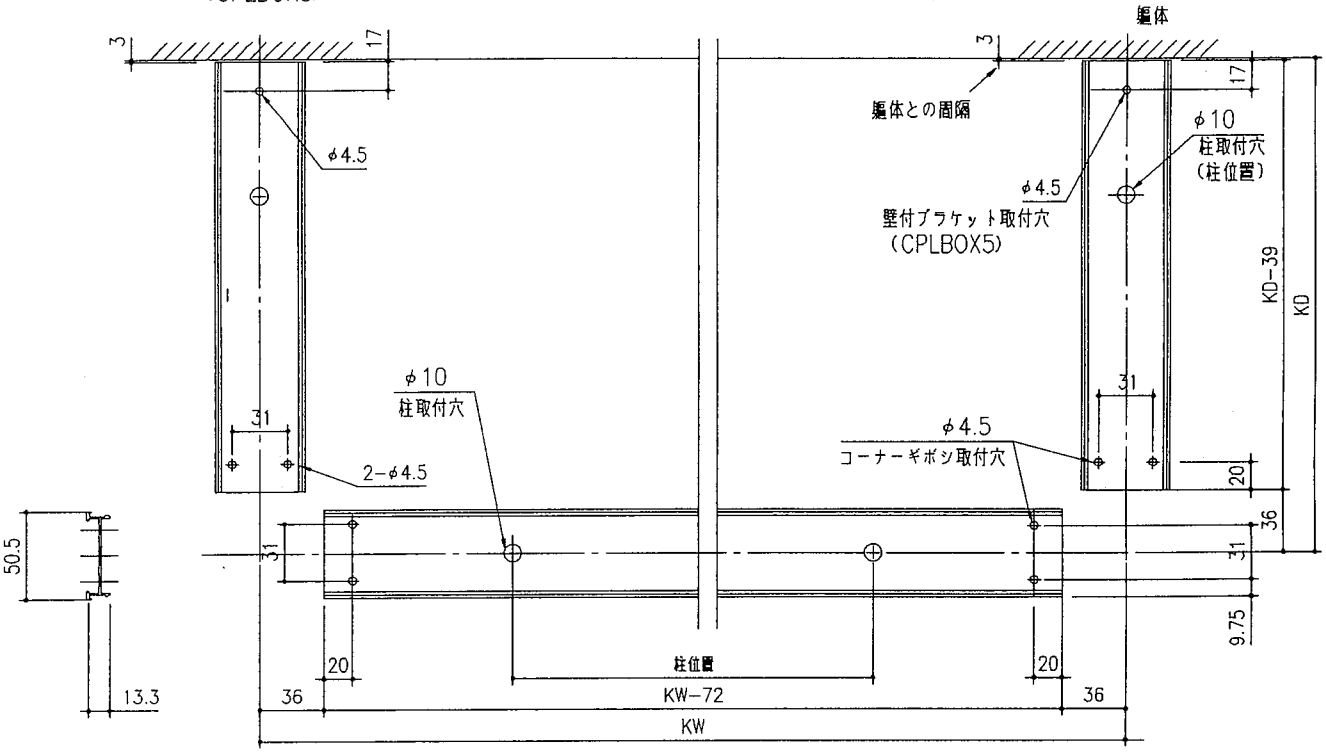
※ 笠木ジョイントカバーで連結する場合は、連結部を２mm短く切断してください。



加工図 ＜半丸笠木＞

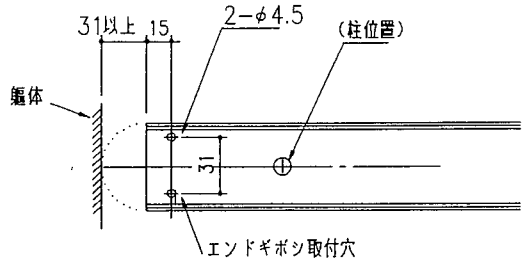
4－1 半丸笠木

（1）周縁壁直付ブラケット取付
（CPLBOX5）



4－2 半丸笠木（出巾）エンドギボシ

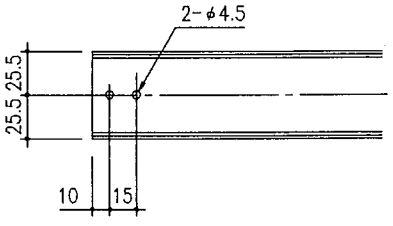
※躯体側エンドギボシの場合（CKTKB2）



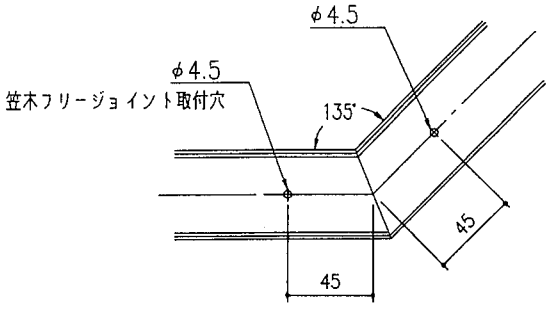
※エンドギボシを取付ける場合は、躯体との間を３１mm以上明けてください。

4－3 半丸笠木連結プレート（CKTKB4）

※本図は右を示す、左は対称とする。

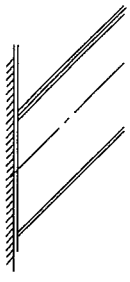


4－4 笠木フリージョイント（CPLBOX16）



※笠木フリージョイントを取付ける場合は、格子の間隔を１１０mm以内にしてください。

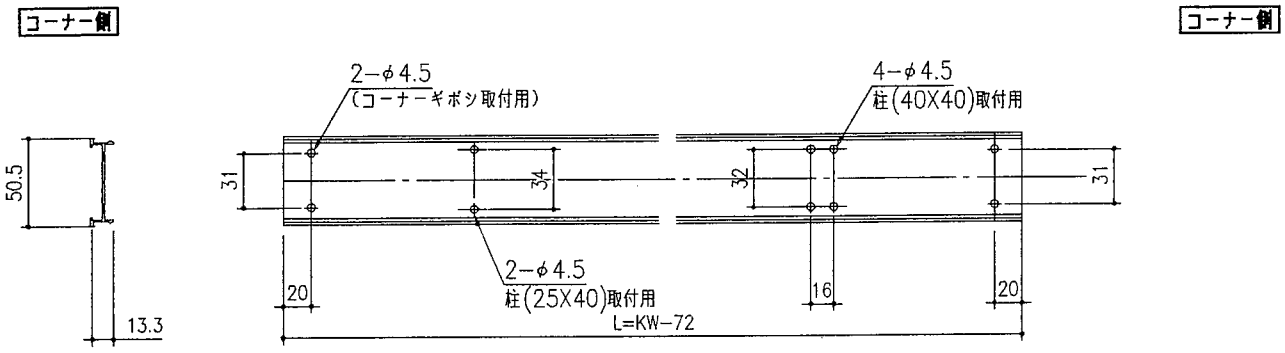
4－5 笠木壁直付角度自在ブラケット（NBLBOX4）



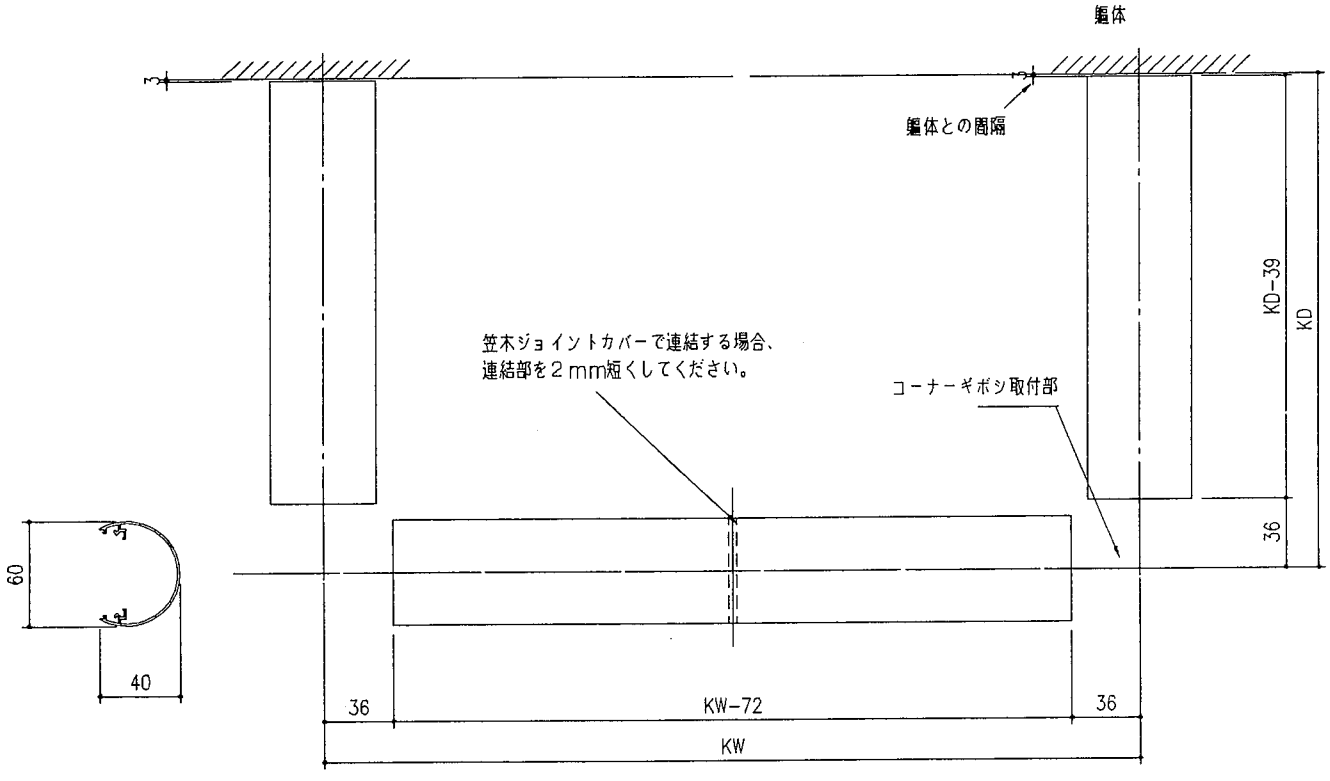
※笠木壁直付角度自在ブラケットに合わせて，テックスビスにて固定してください。

加工図 ＜半丸笠木、笠木カバー＞

4－6 | タイプ半丸笠木（間口）



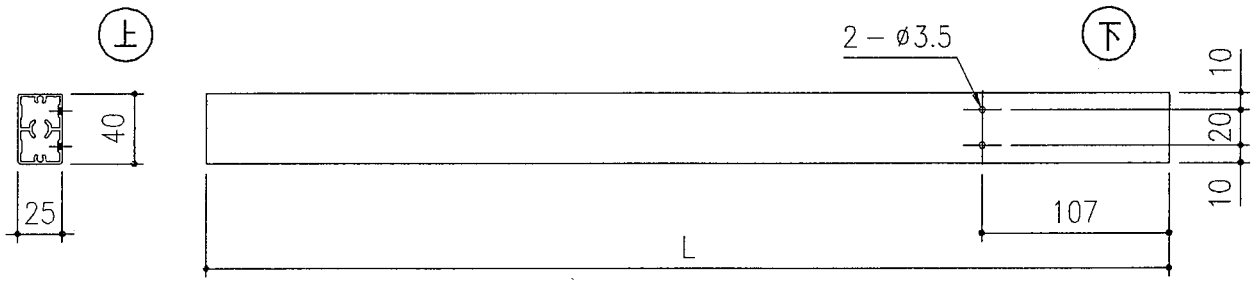
4－7 | タイプ半丸笠木カバー



加工図 ＜柱＞

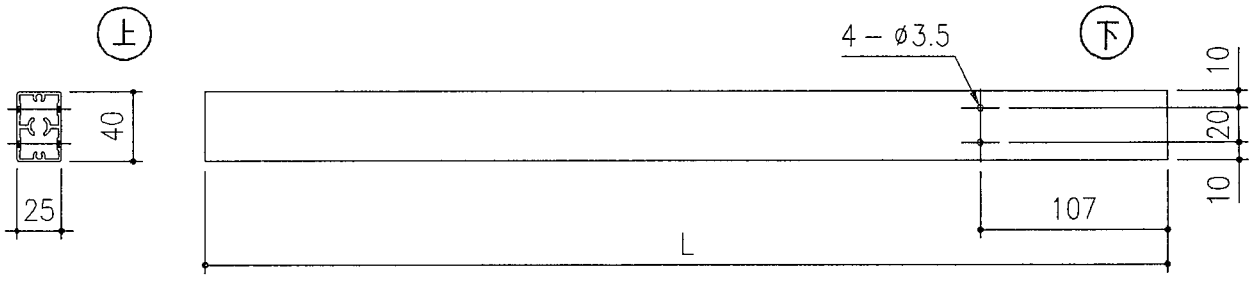
5－1 Aタイプ 端部柱 25 x 40

公式
L＝H－37



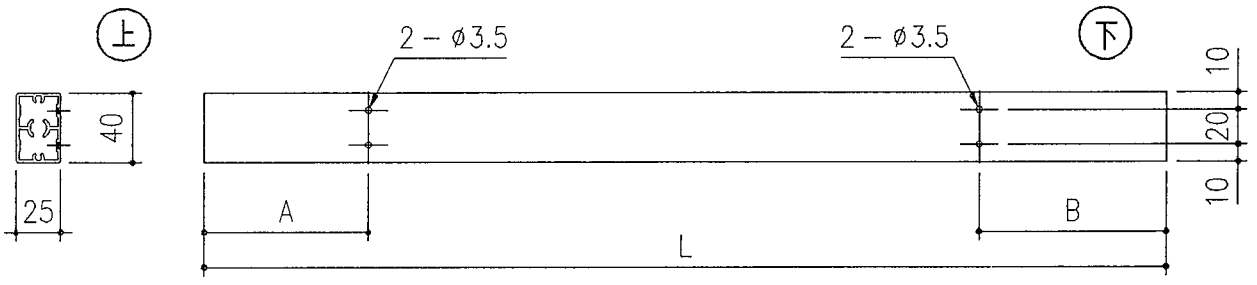
5－2 Aタイプ 中間柱 25 x 40

公式
L＝H－37



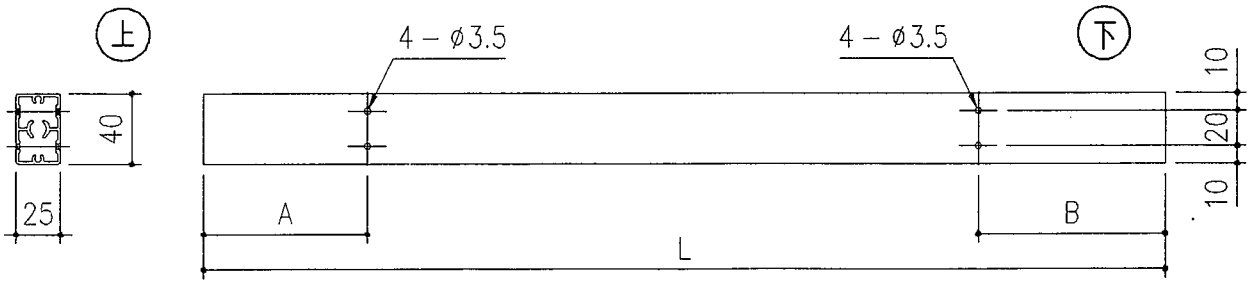
5－3 Bタイプ 端部柱 25 x 40

タイプ		A寸法	B寸法	公式
B2・B3	格子	121	107	L＝H－37
B2・B3	パネル	123	107	
B2	鋳物	121	52	
B3	鋳物	93.5	79.5	



5－4 Bタイプ 中間柱 25 x 40

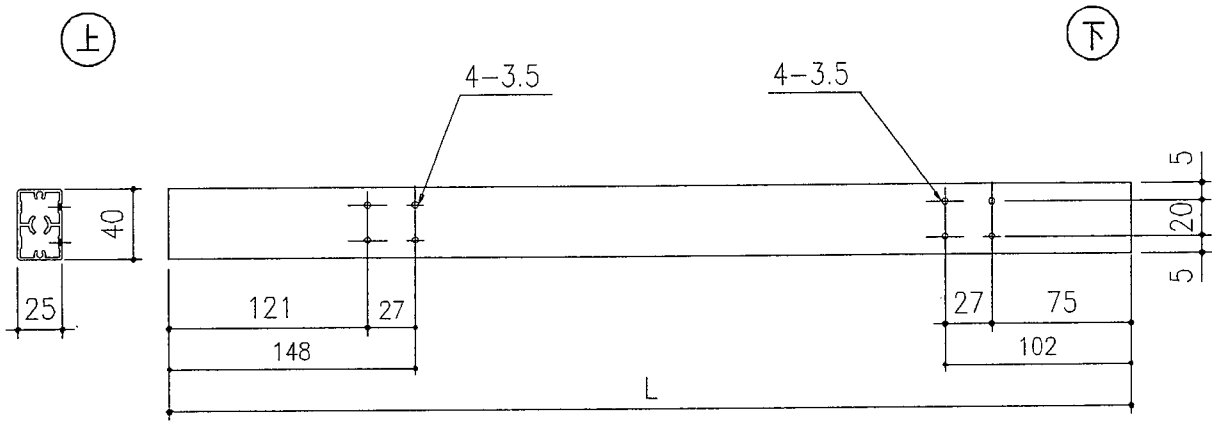
タイプ		A寸法	B寸法	公式
B2・B3	格子	121	107	L＝H－37
B2・B3	パネル	123	107	
B2	鋳物	121	52	
B3	鋳物	93.5	79.5	



加工図 ＜柱＞

5－5 A2・B2タイプ ダイヤクロス格子用端部柱 25 x 40

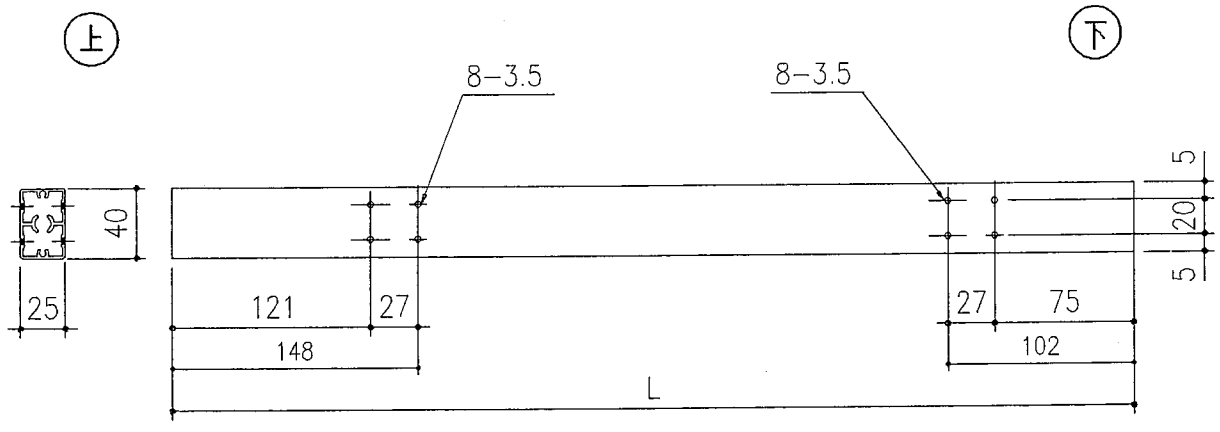
公　式
L＝H－37



※ 丸笠木の場合、上端より 23 mm 短い切断寸法になります。

5－6 A2・B2タイプ ダイヤクロス格子用中間柱 25 x 40

公　式
L＝H－37

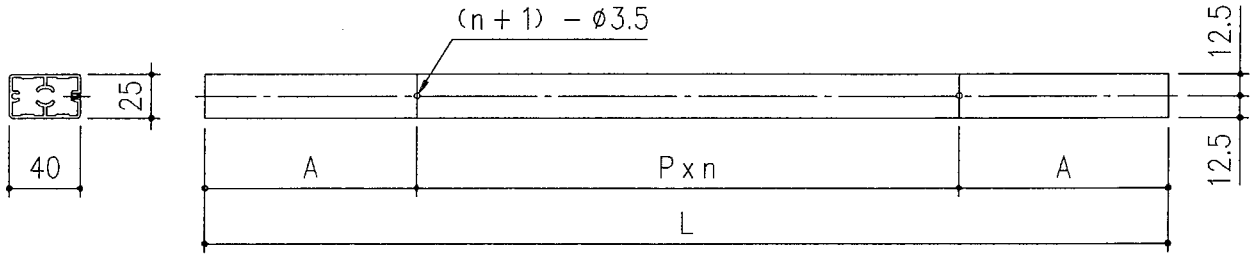


※ 丸笠木の場合、上端より 23 mm 短い切断寸法になります。

加工図 ＜柱＞

6－7 Cタイプ 横格子 外付用柱 25 x 40

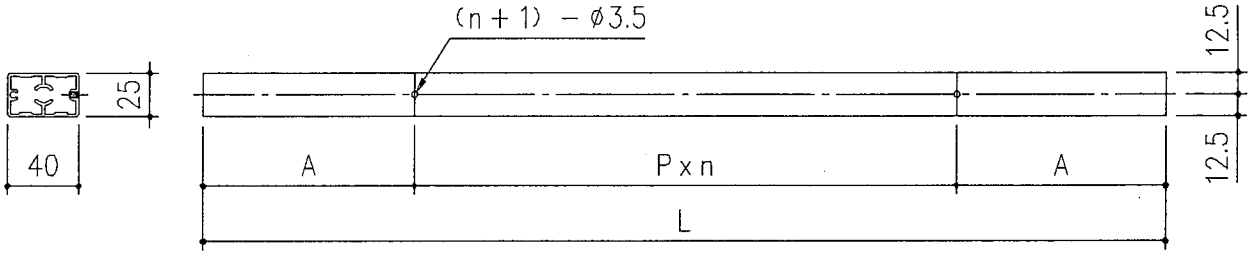
A 寸法	公 式
A＝(L－Pxn)／2	L＝H－37



※ 丸笠木の場合、上端より 23 mm 短い切断寸法になります。

6－8 Cタイプ 丸横格子用柱 25 x 40

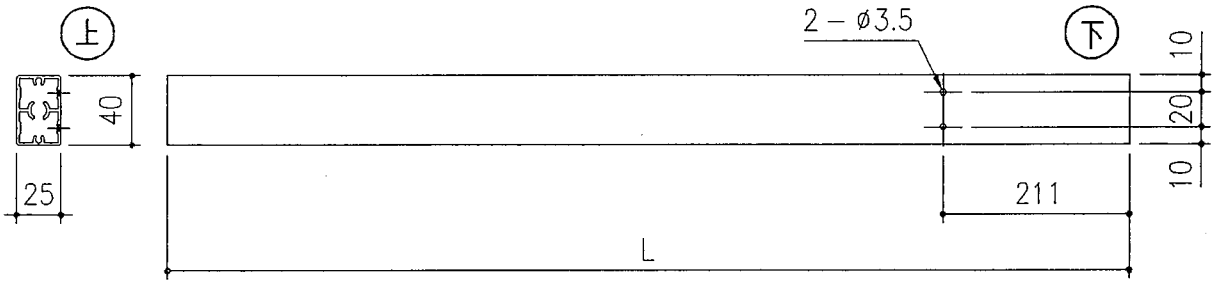
A 寸法	公 式
A＝(L－Pxn)／2	L＝H－37



※ 丸笠木の場合、上端より 23 mm 短い切断寸法になります。

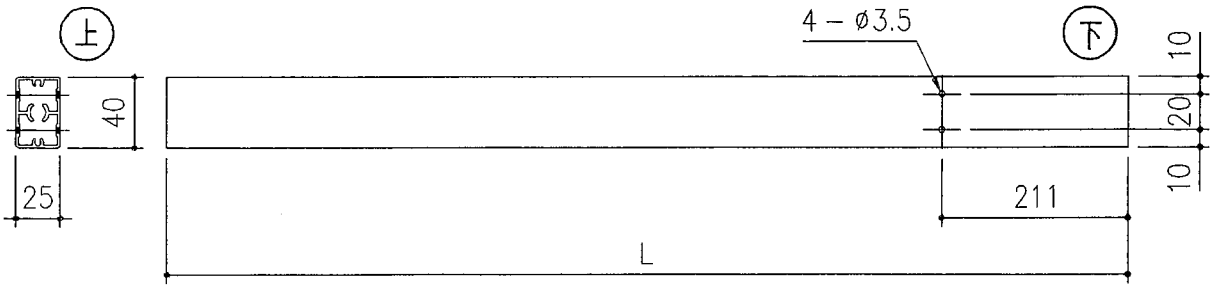
6－9 Hタイプ 端部柱 25 x 40

公 式
L＝H＋67



6－10 Hタイプ 中間柱 25 x 40

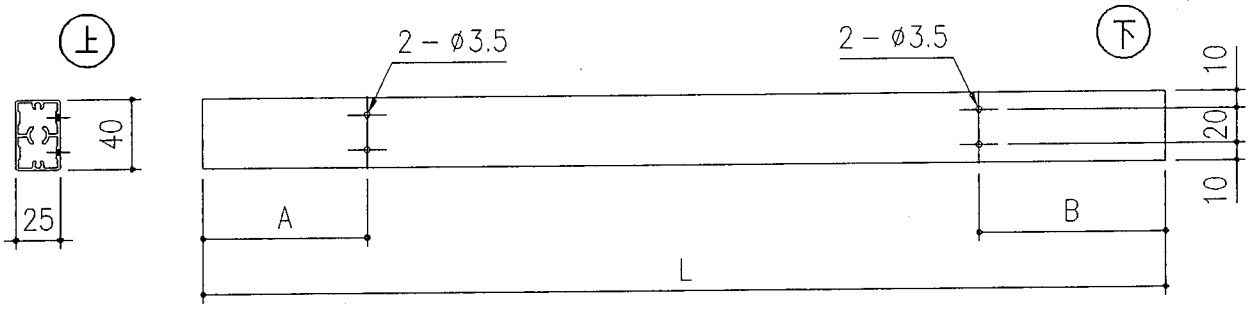
公 式
L＝H＋67



加工図 ＜柱＞

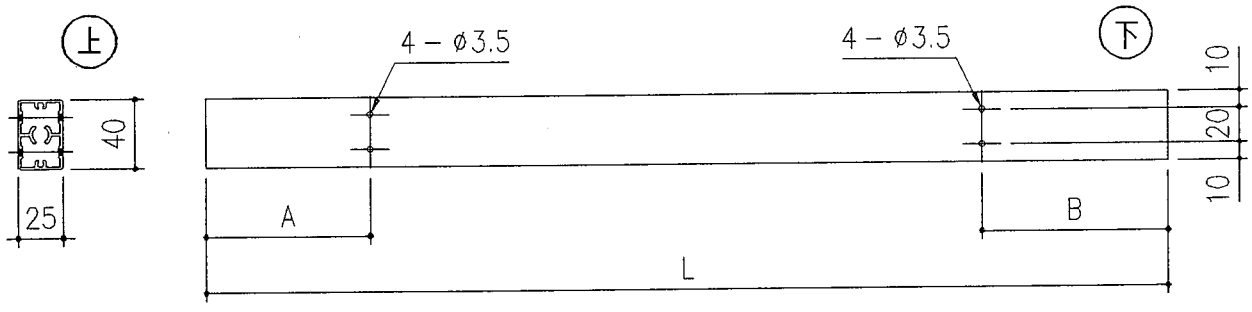
5－11 Hタイプ 端部柱 25 x 40

タイプ	A寸法	B寸法	公式
格子タイプ	121	211	L＝H＋67
パネルタイプ	123	211	



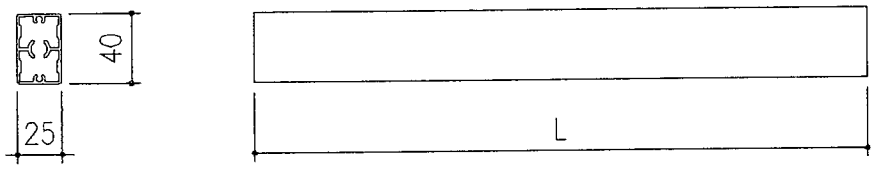
5－12 Hタイプ 中間柱 25 x 40

タイプ	A寸法	B寸法	公式
格子タイプ	121	211	L＝H＋67
パネルタイプ	123	211	



5－13 Bタイプ 短柱 25 x 40

公式
L＝H－37

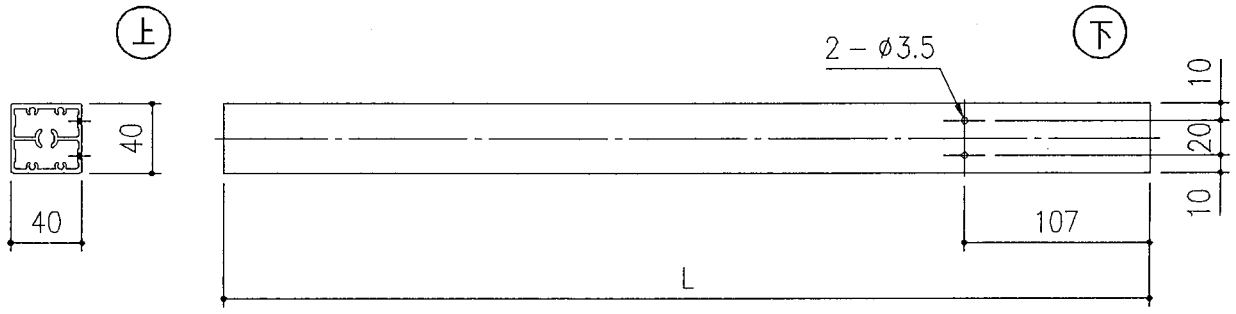


※ 丸笠木の場合、上端より 23 mm 短い切断寸法になります。

加工図 ＜柱＞

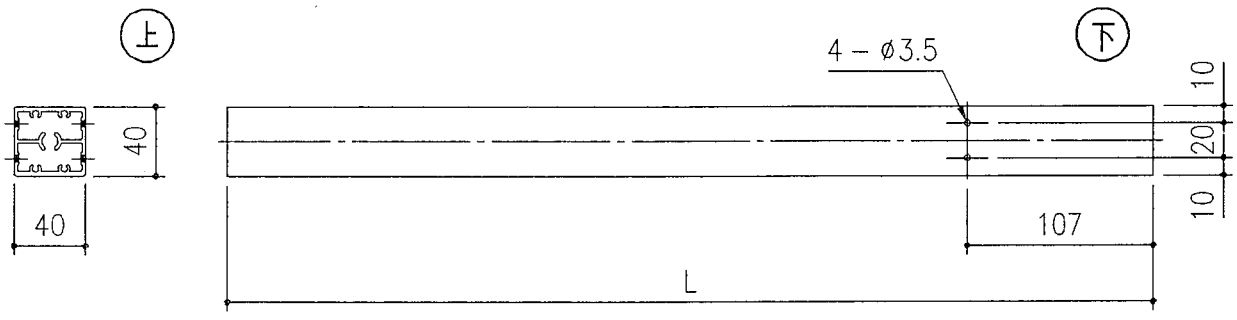
5－14 Dタイプ 端部柱 40 x 40

公　式
L＝H－37



5－15 Dタイプ 中間柱 40 x 40

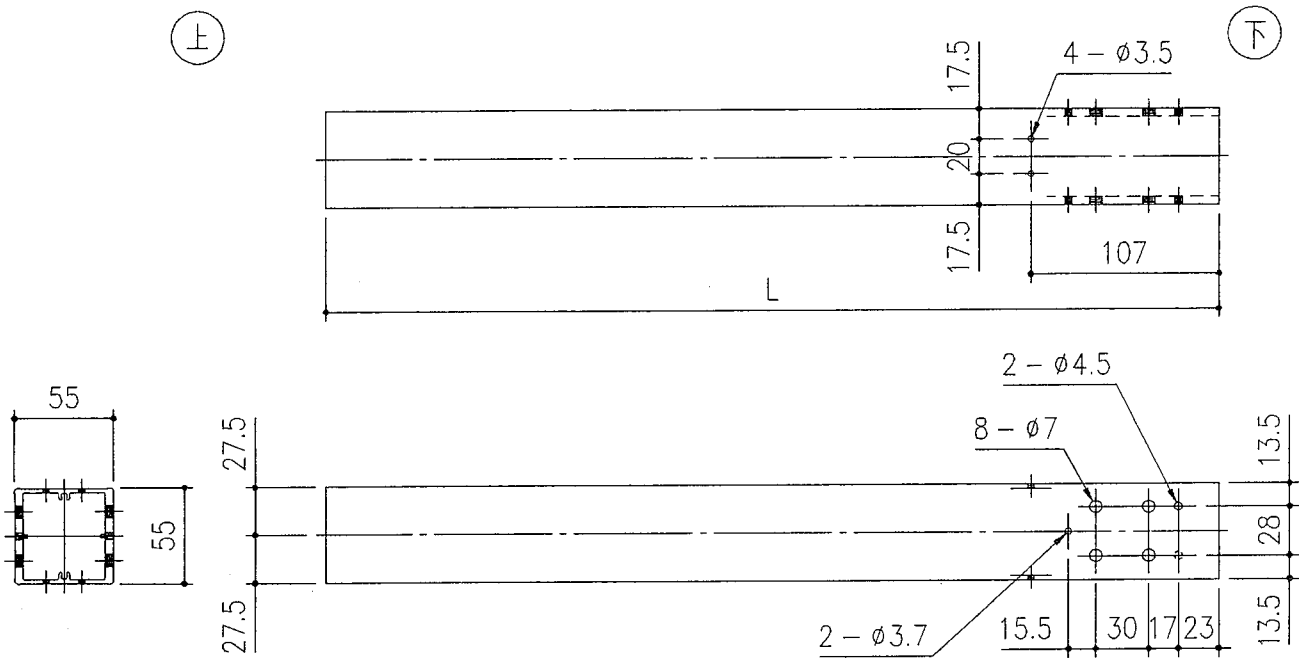
公　式
L＝H－37



加工図 ＜柱＞

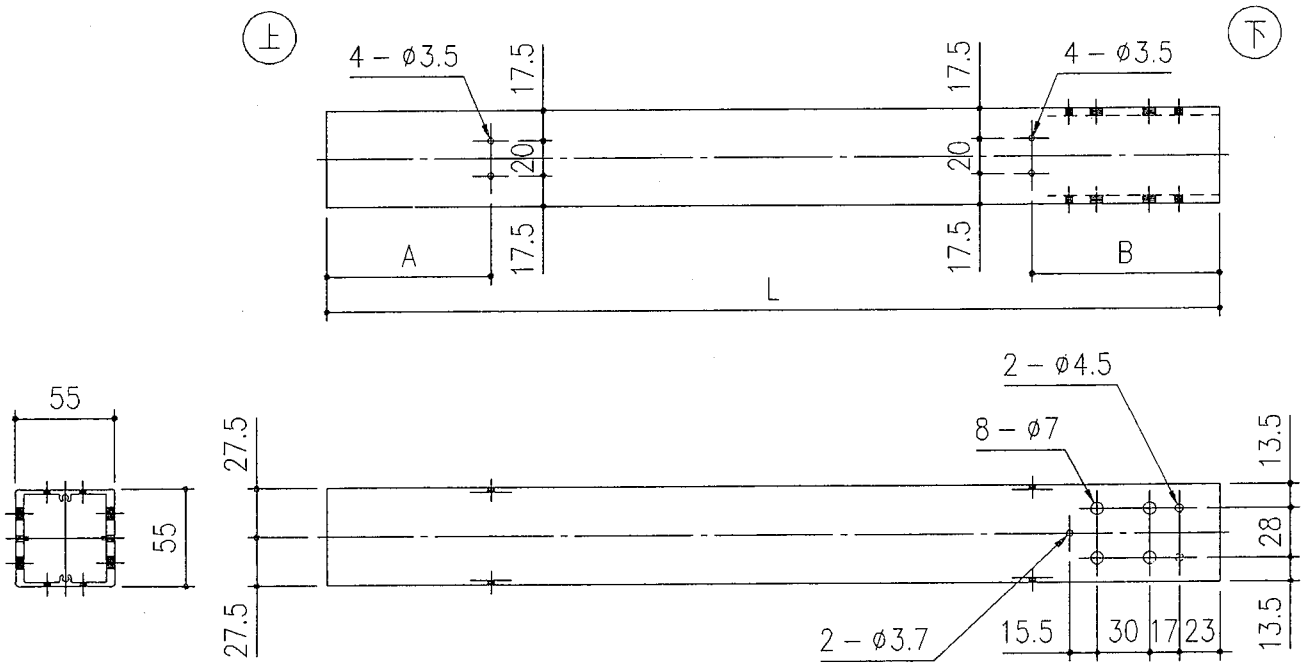
5－16 A・Bタイプ柱 55x55

公式
L＝H－44



5－17 B3タイプ柱 55x55

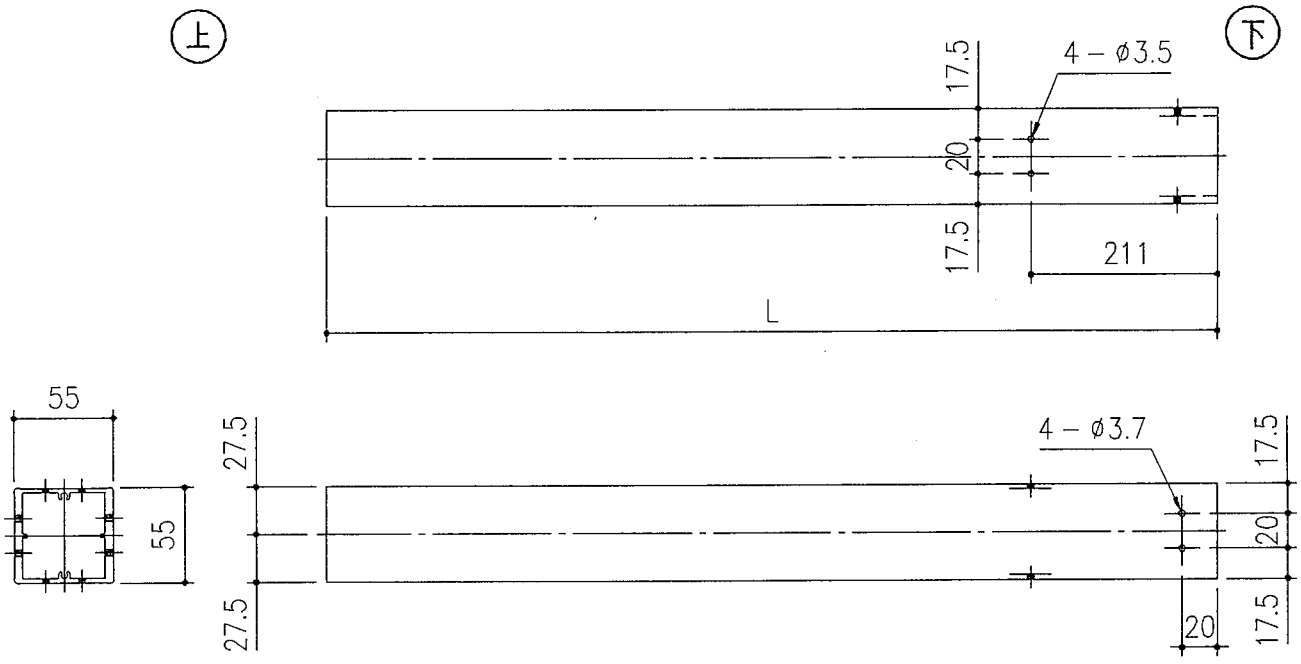
タイプ	A寸法	B寸法	公式
格子タイプ	114	107	L＝H－44
パネルタイプ	116	107	
鋳物タイプ	86.5	79.5	



加工図 ＜柱＞

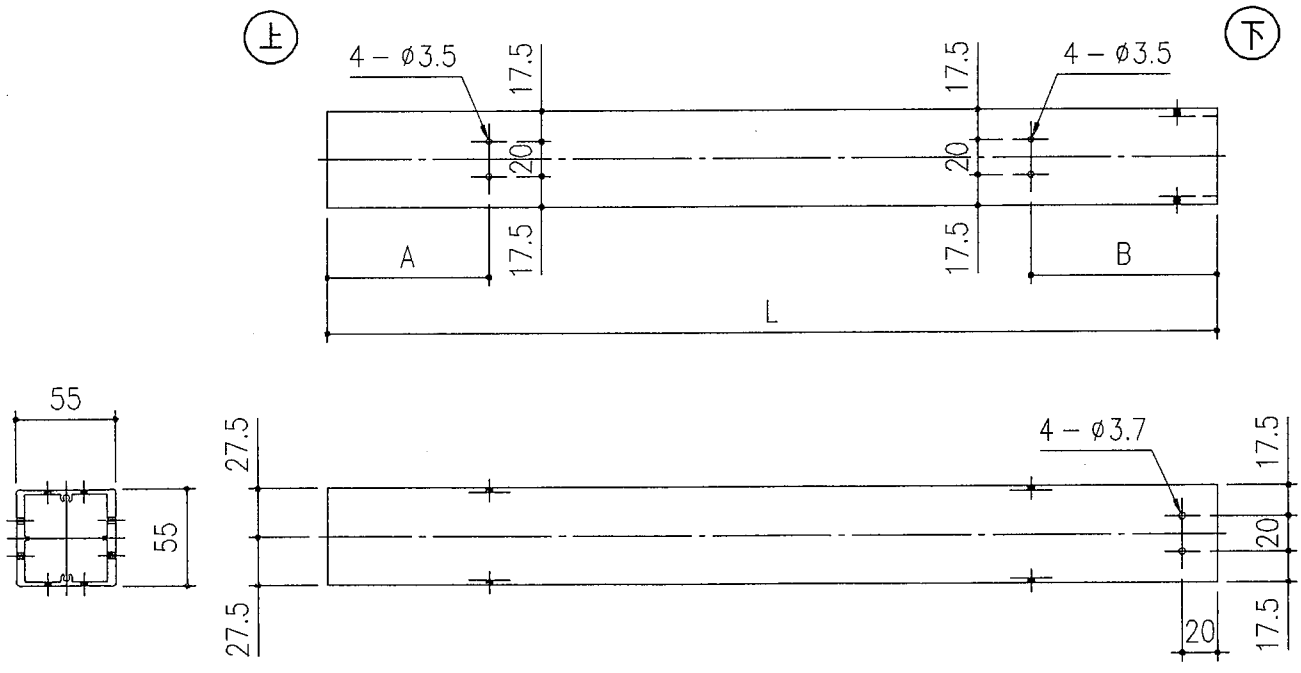
5－18 Hタイプ柱 55x55

公式
L＝H＋60



5－19 Hタイプ柱 55x55

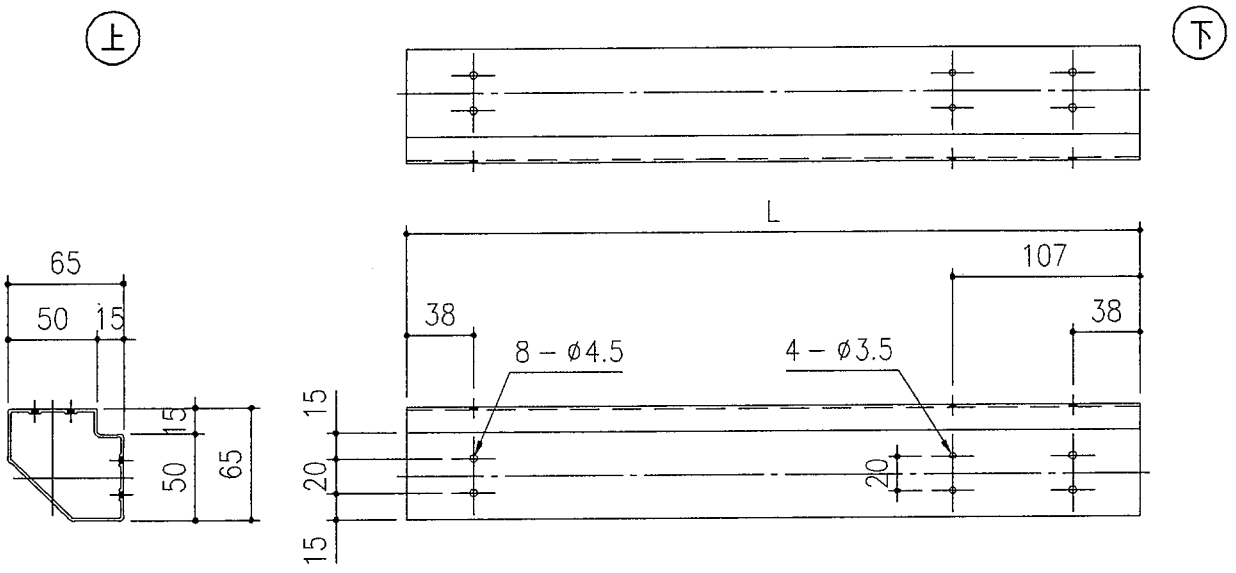
タイプ	A寸法	B寸法	公式
格子タイプ	114	211	L＝H＋60
パネルタイプ	109	211	



加工図 ＜柱＞

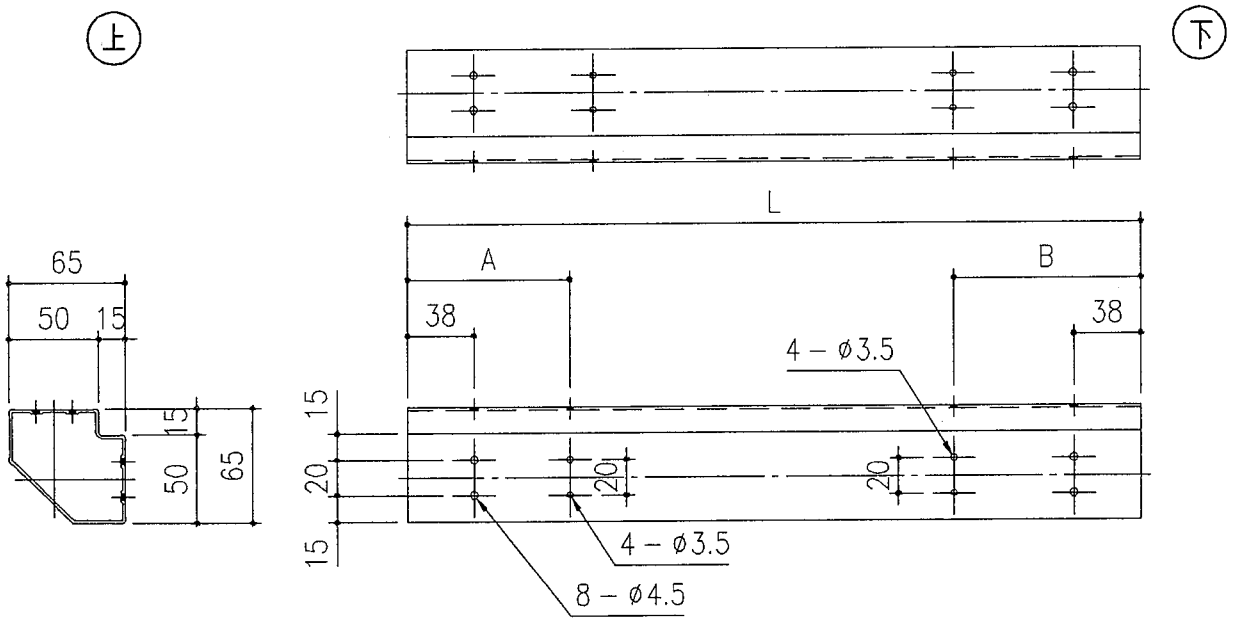
5－20 A3・Dタイプコーナー柱

公式
L＝H－44.5



5－21 B3タイプコーナー柱

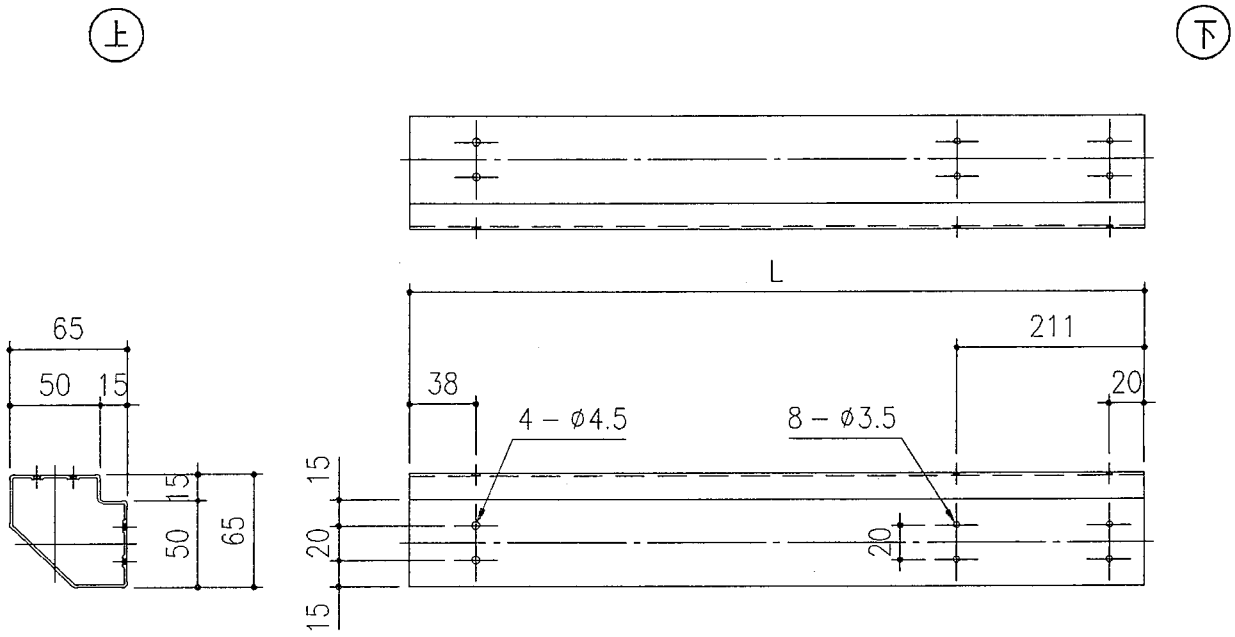
タイプ	A寸法	B寸法	公式
格子タイプ	113.5	107	L＝H－44.5
パネルタイプ	115.5	107	
鋳物タイプ	86	79.5	



加工図 ＜柱＞

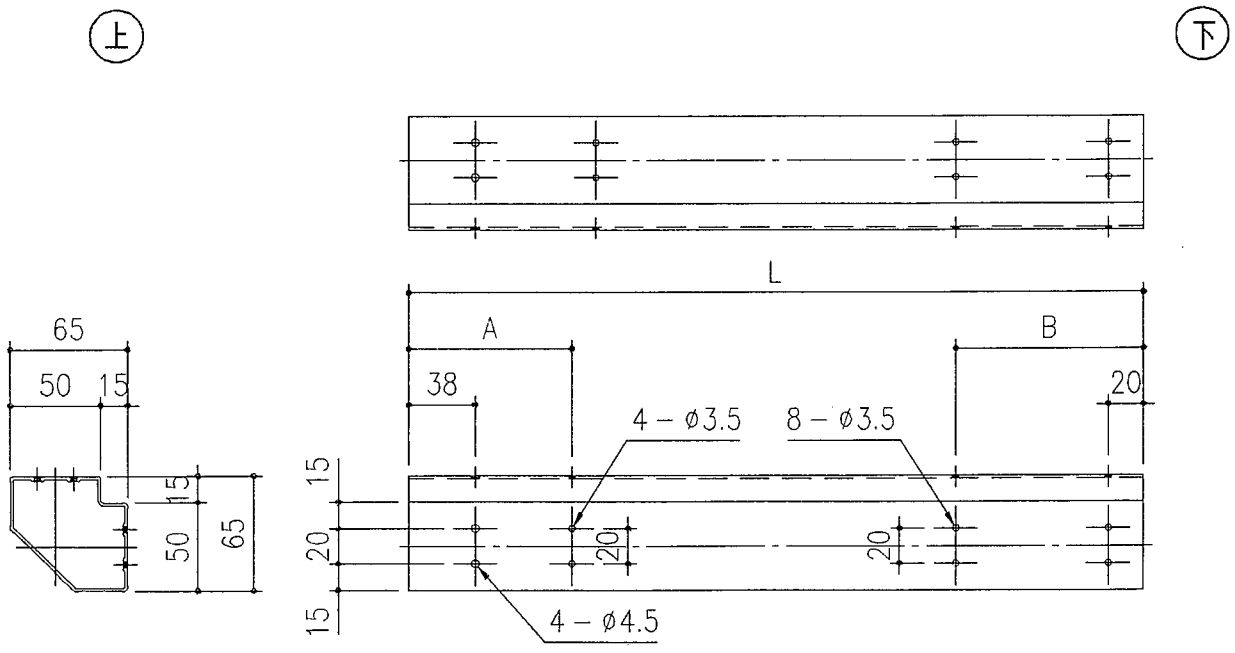
5－22 Hタイプコーナー柱

公式
L＝H＋59.5



5－23 B3タイプコーナー柱

タイプ	A寸法	B寸法	公式
格子タイプ	113.5	211	L＝H＋59.5
パネルタイプ	115.5	211	

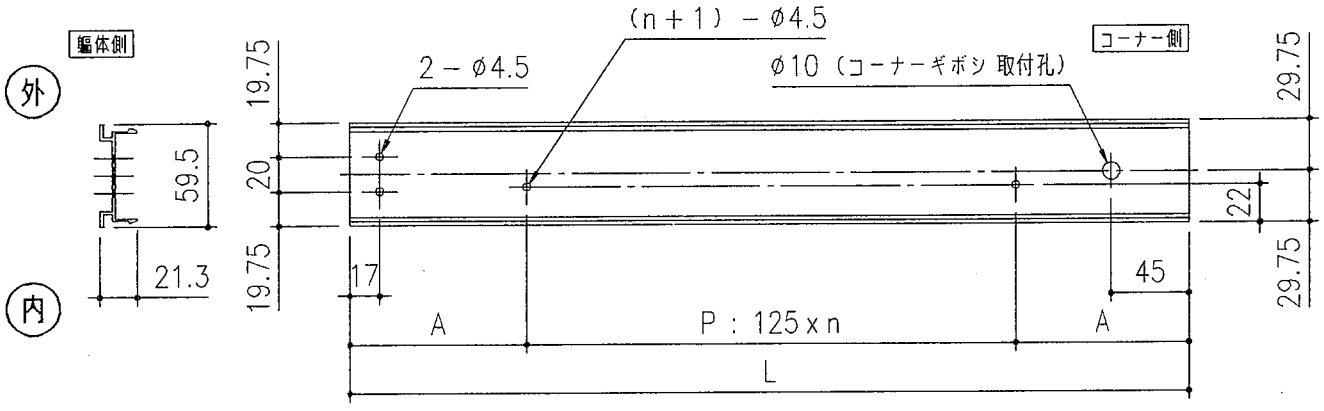


加工図 ＜格子パネル＞

＊左右勝手のあるタイプは逆勝手の加工をしてください。

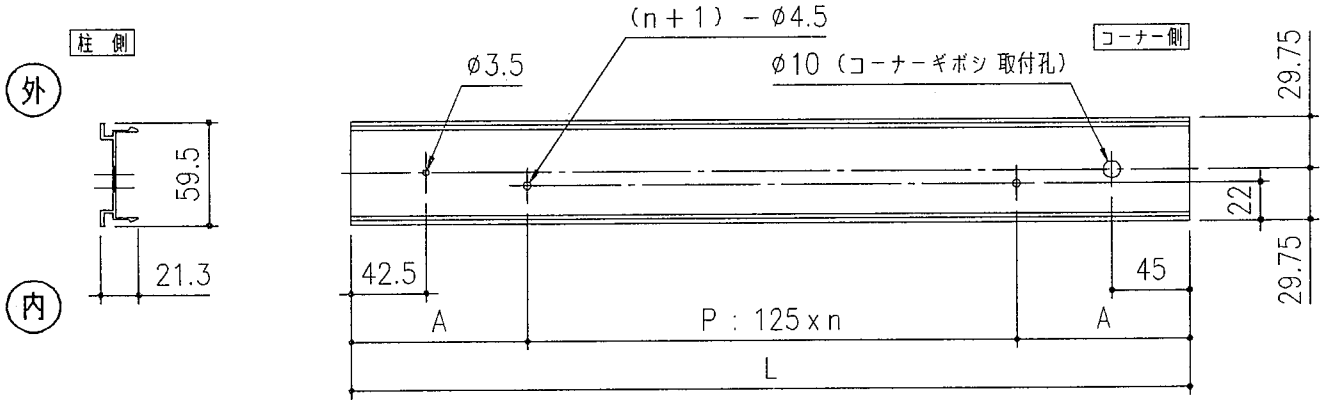
6－1 A3・Hタイプ 外観左コーナー、壁付タイプ格子パネル用笠木

A 寸法	公 式
A＝(L－125xn)／2	L＝KD－43



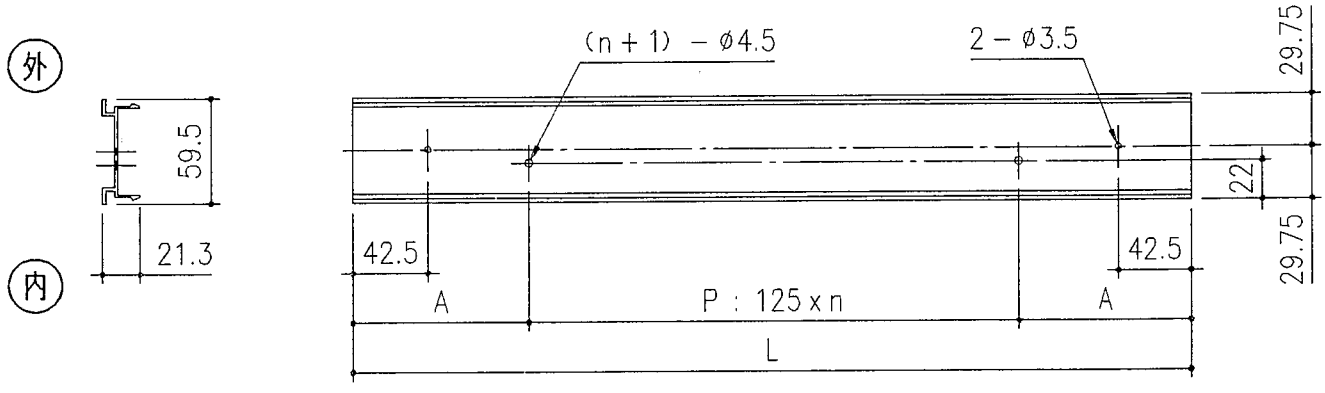
6－2 A3・Hタイプ 外観左コーナー、柱タイプ格子パネル用笠木

A 寸法	公 式
A＝(L－125xn)／2	L＝W－56



6－3 A3・Hタイプ 両側柱タイプ格子パネル用笠木

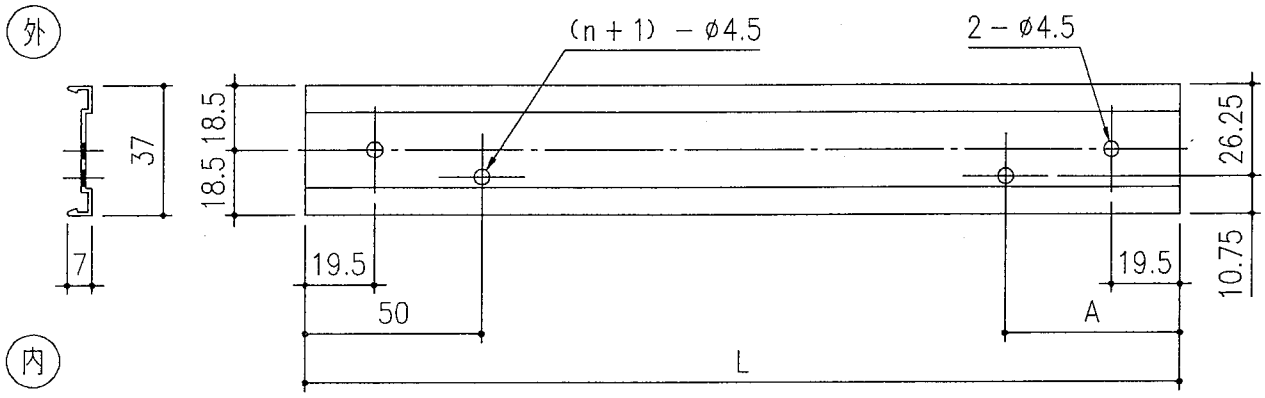
A 寸法	公 式
A＝(L－125xn)／2	L＝W－56



加工図 ＜格子パネル＞

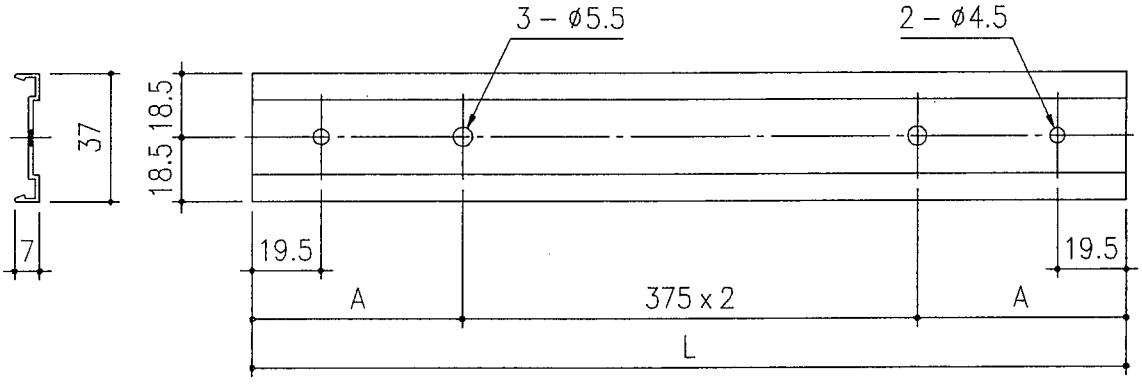
6－4 A・Dタイプ格子用上胴縁

タイプ	A 寸法	公 式
A,D	A＝(L－125xn)／2	L＝W1－26



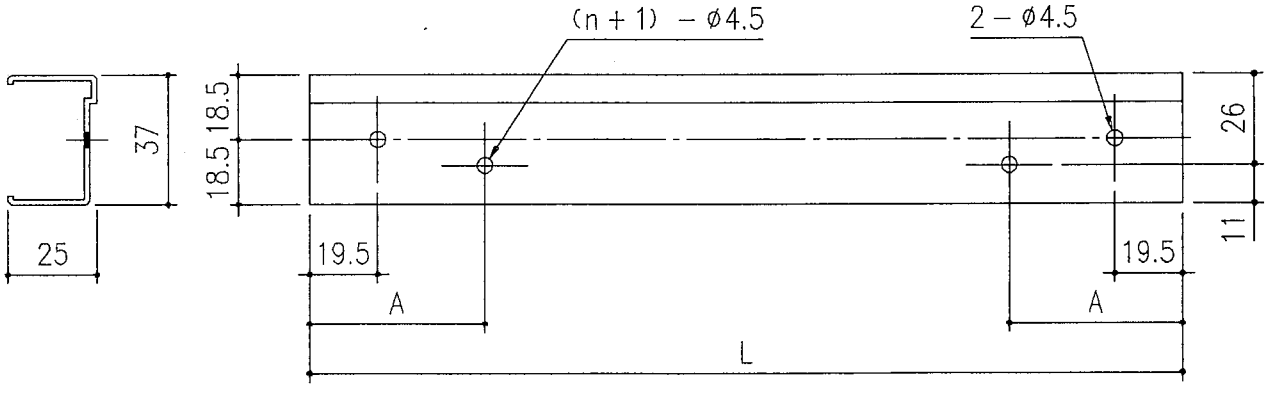
6－5 Bタイプ鋳物格子用上胴縁

タイプ	A 寸法	公 式
A,B2	A＝(L－750)／2	L＝W1/2－26
B3,H		L＝W1/2－41



6－6 格子用下胴縁

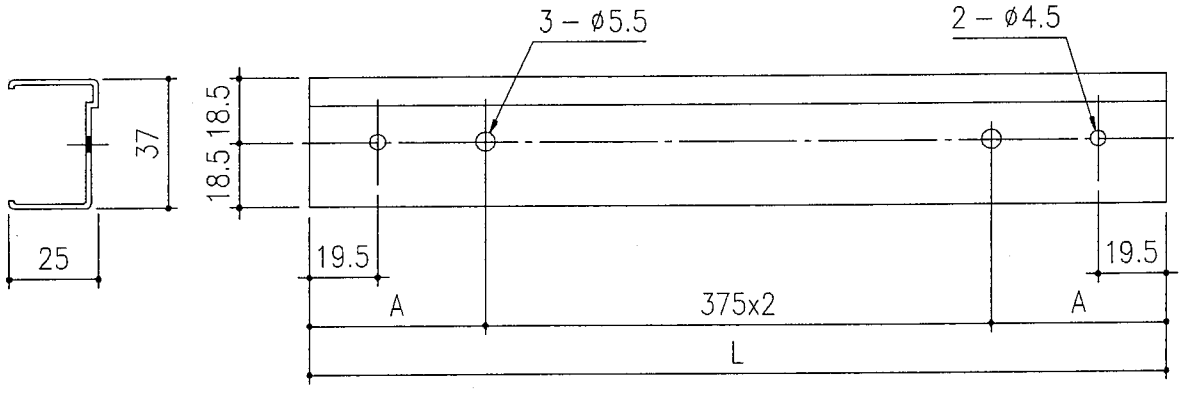
タイプ	A 寸法	公 式
A3,B3,H	A＝(L－125xn)／2	L＝W－56
A,B,	A＝(L－125xn)／2	L＝W1－26
D	A＝(L－125xn)／2	L＝W1－41



加工図 ＜格子パネル＞

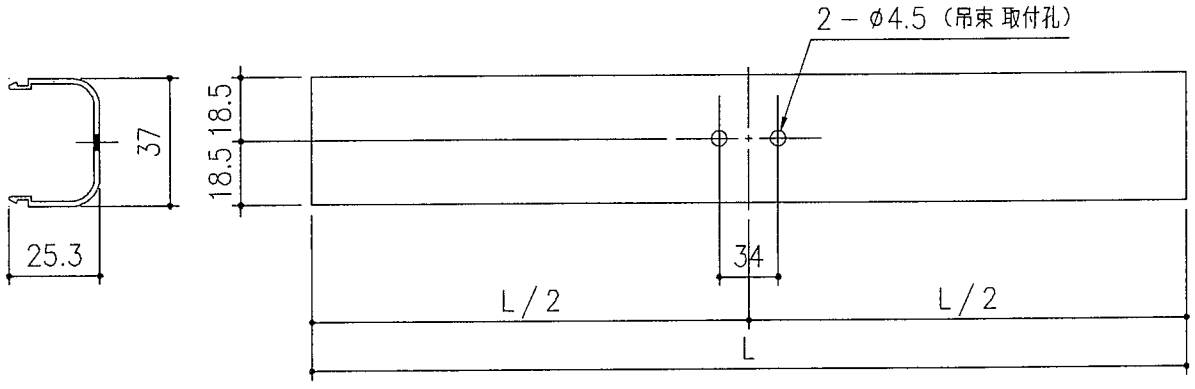
6－7 A・Bタイプ鋳物格子用下胴縁

タイプ	A 寸法	公 式
A,B2	A＝(L－750)／2	L＝W1/2－26
B3		L＝W1/2－41



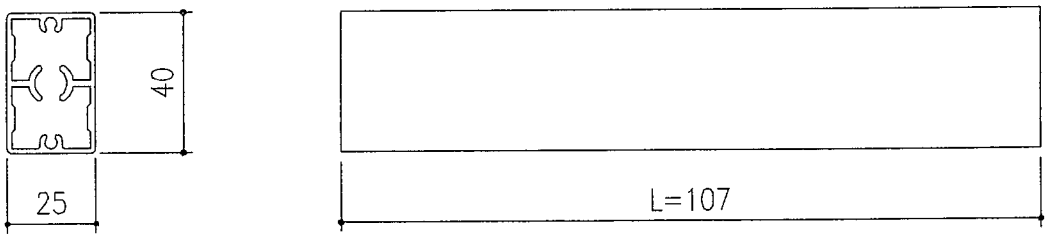
6－8 B3・Hタイプ上胴縁カバー

公 式
L＝W－56



6－9 B3・Hタイプ吊束 25 x 40

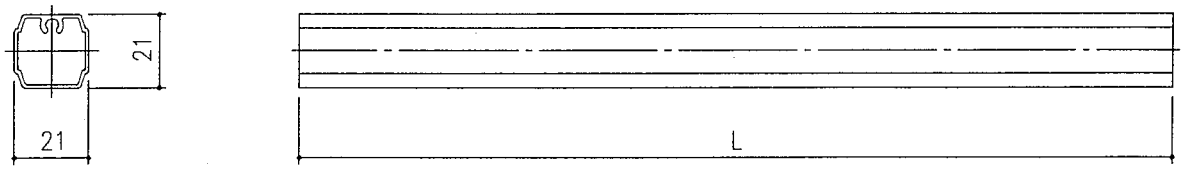
タイプ	公 式
B3	L＝H－893
H	L＝H－993



加工図 ＜格子パネル＞

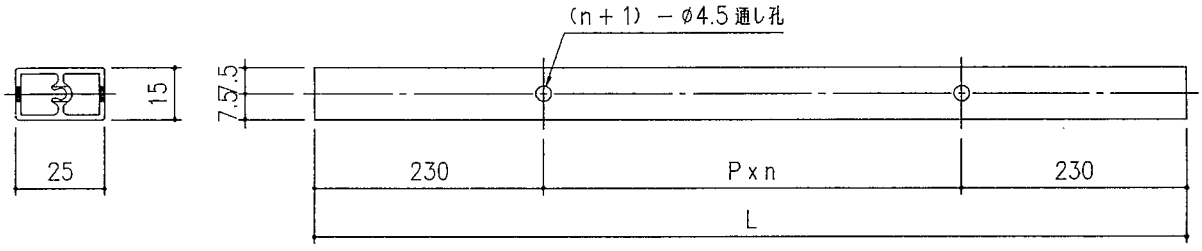
7－1 格子

タイプ	公　式
A,D	L＝PH－21
B	L＝PH－48
A3,H	L＝PH－16



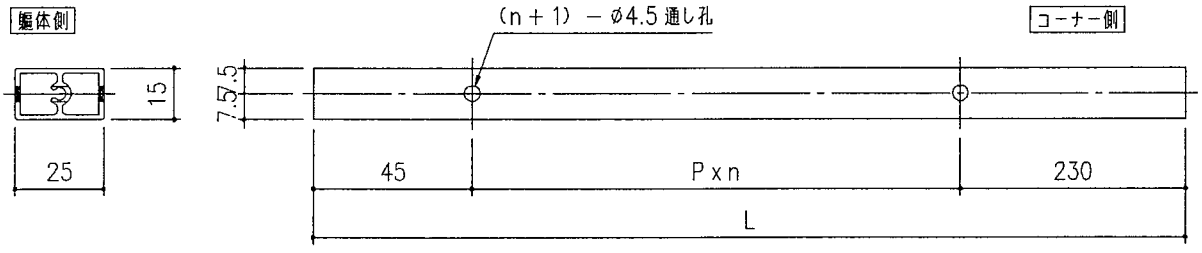
7－2 Cタイプ横格子外付タイプ（間口）

公　式
L＝KW＋120



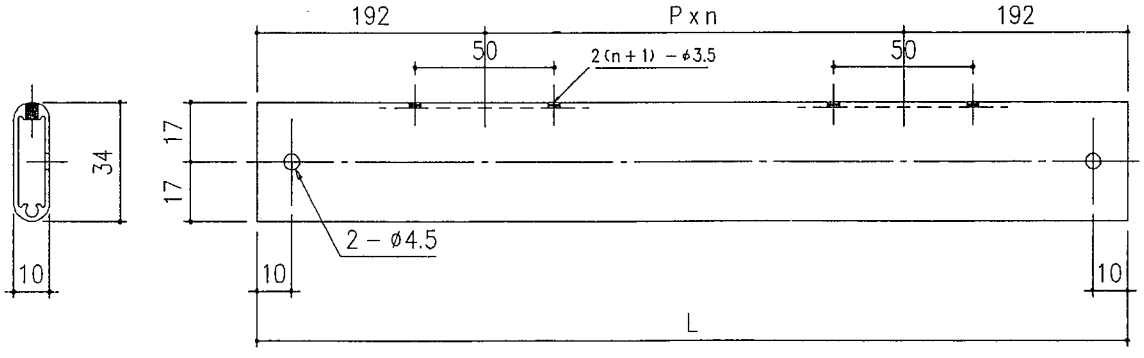
7－3 Cタイプ横格子外付タイプ（出巾）

公　式
L＝KD＋55



7－4 Cタイプ丸横格子外付けタイプ（間口）

公　式
L＝KW＋44

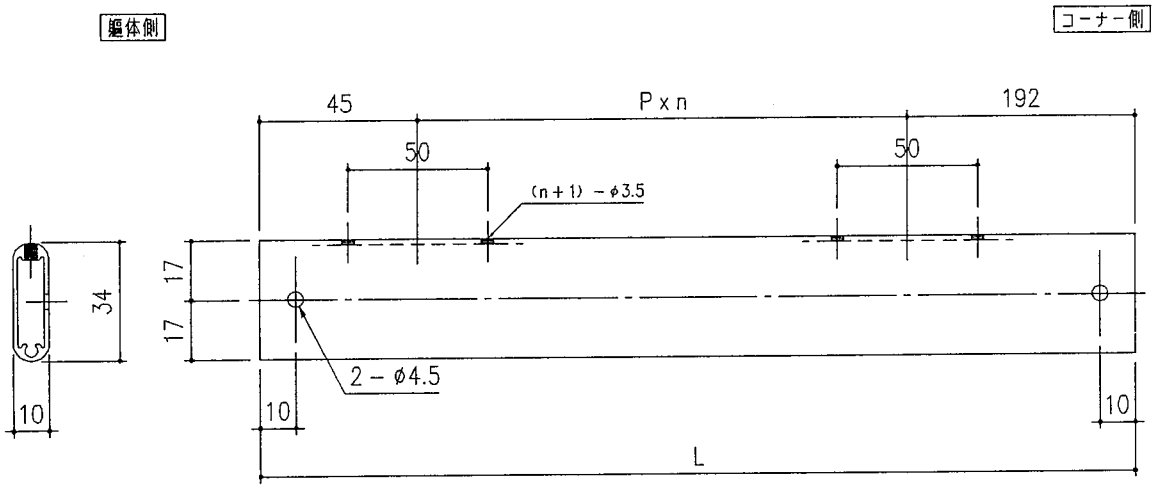


※丸横格子の穴加工は、Vノッチの方にしてください。

加工図 ＜格子パネル＞

7－5 Cタイプ横格子外付タイプ（出巾）

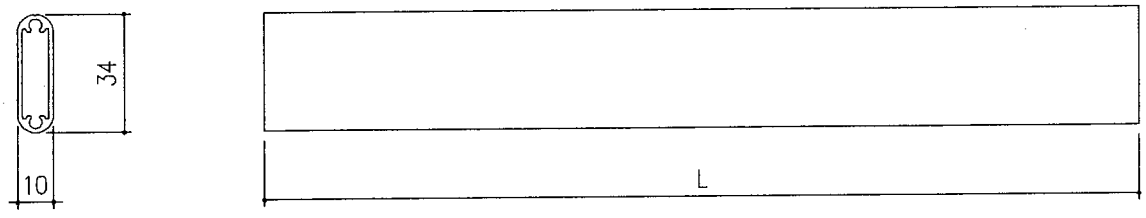
公　式
L＝KD＋17



※丸横格子の穴加工は、Vノッチの方にしてください。

7－6 Cタイプ横格子内付タイプ

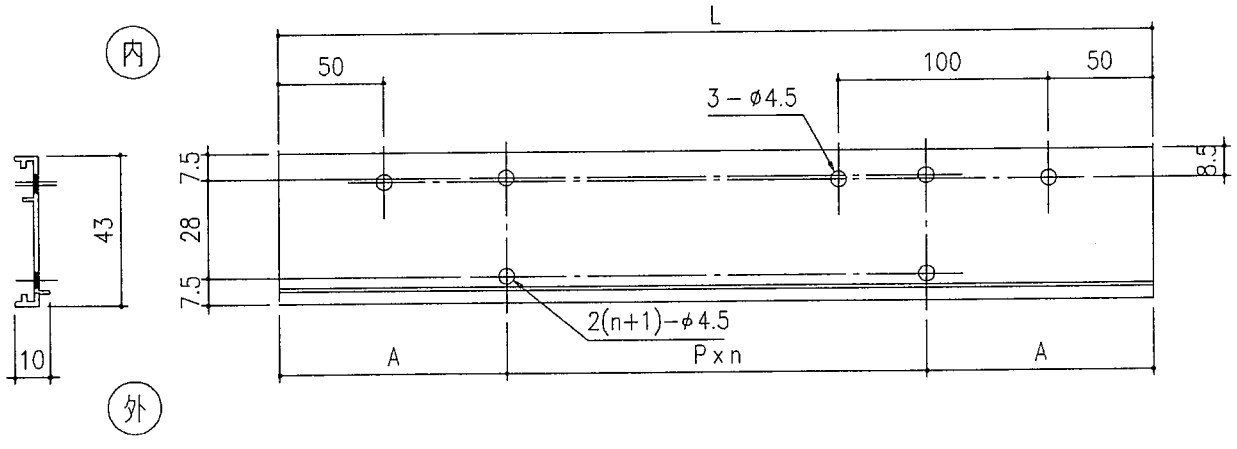
タイプ	公　式
間柱部	L＝W1＋35
コーナー部	L＝W1－37



※丸横格子の穴加工は、Vノッチの方にしてください。

7－7 Cタイプ横格子内付用増たて枠（左）

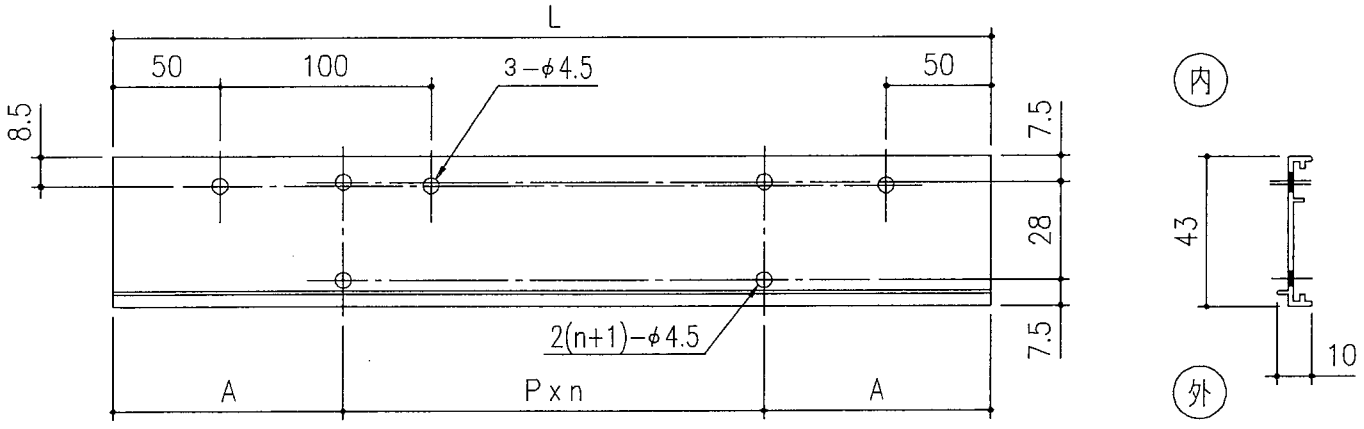
A 寸法	公　式
A＝(L－Pxn)／2	L＝H－45



加工図 ＜格子パネル＞

7－8 Cタイプ横格子内付け用増たて枠（右）

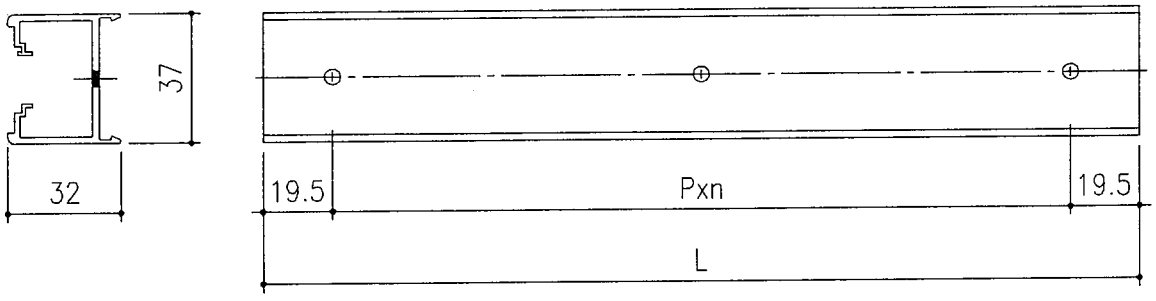
A 寸法	公 式
A＝(L－Pxn)／2	L＝H－45



加工図 ＜パネル枠＞

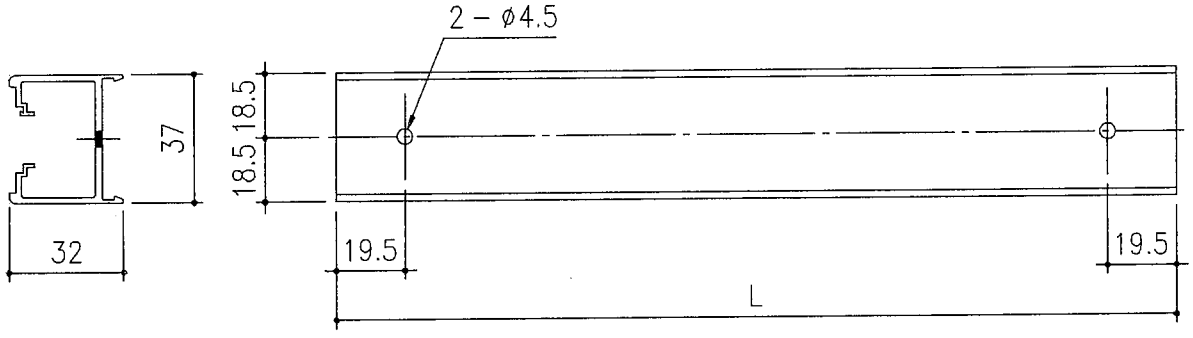
8－1 A・D・Hタイプパネル用上枠

タイプ	公　式
A	L＝W1－26
D,H	L＝W1－41



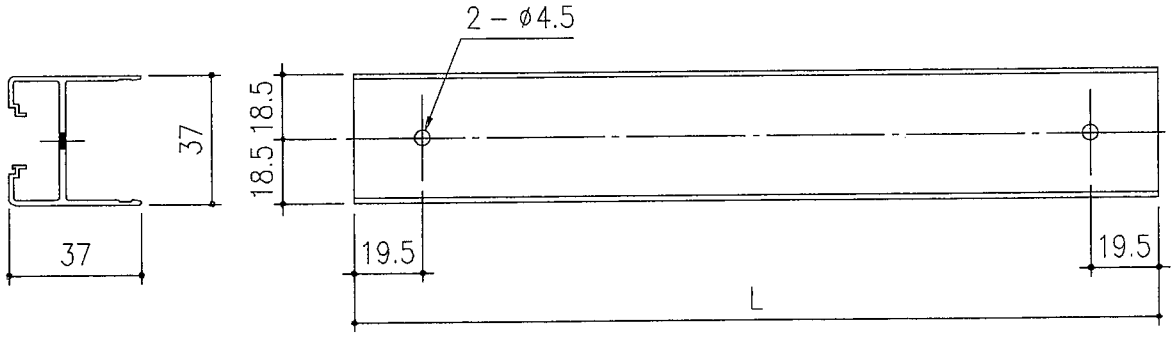
8－2 A・B・D・Hタイプパネル用上枠

タイプ	公　式
A2,B2	L＝W1－26
D,B3,H	L＝W1－41



8－3 A・B・D・Hタイプパネル用下枠

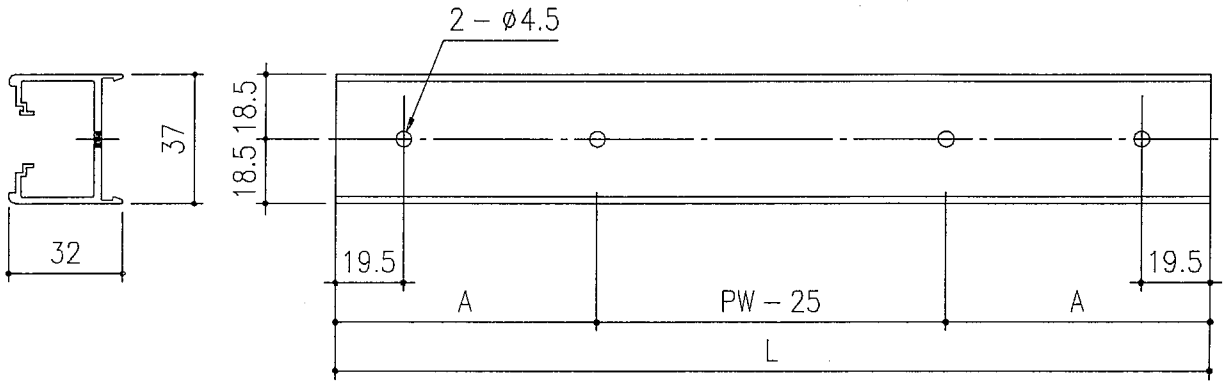
タイプ	公　式
A2,B2	L＝W1－26
D,B3,H	L＝W1－41



加工図 ＜パネル枠＞

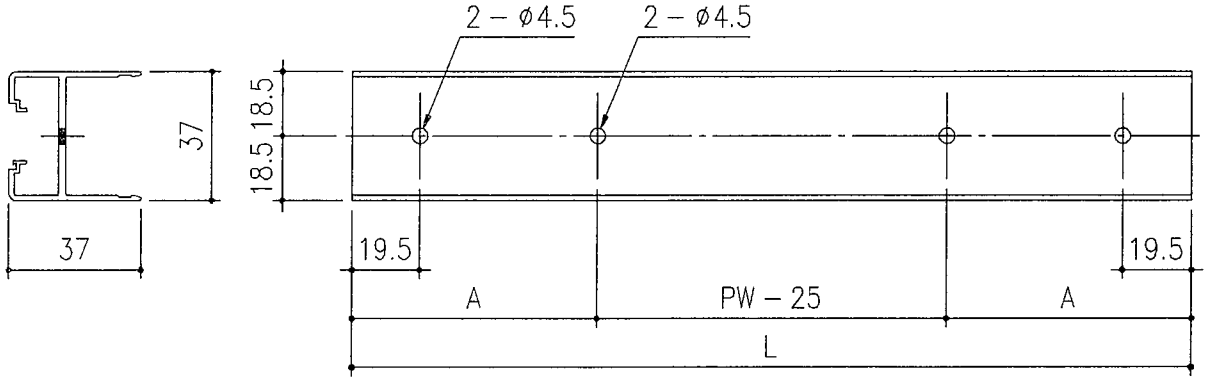
8－4 A・B・D・Hタイプパネル框型用上枠

タイプ	A 寸法	公 式
A2,B2	A＝(L－PW－25)／2	L＝W1－26
B3,H,D		L＝W1－41



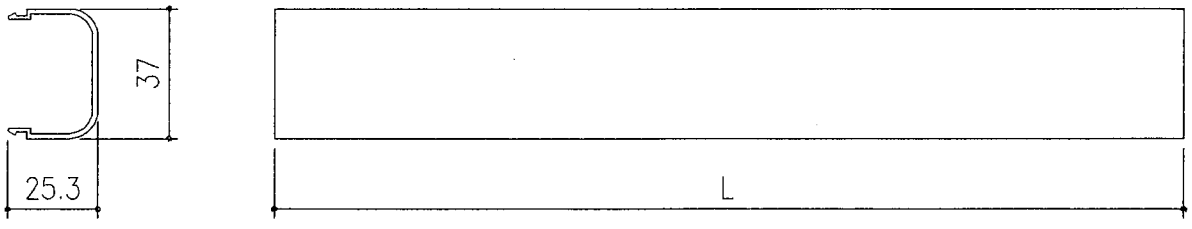
8－5 A・B・H・Dタイプパネル框型用下枠

タイプ	A 寸法	公 式
A2,B2	A＝(L－PW－25)／2	L＝W1－26
B3,D,H		L＝W1－41



8－6 A2・B・D・Hタイプ胴縁カバー

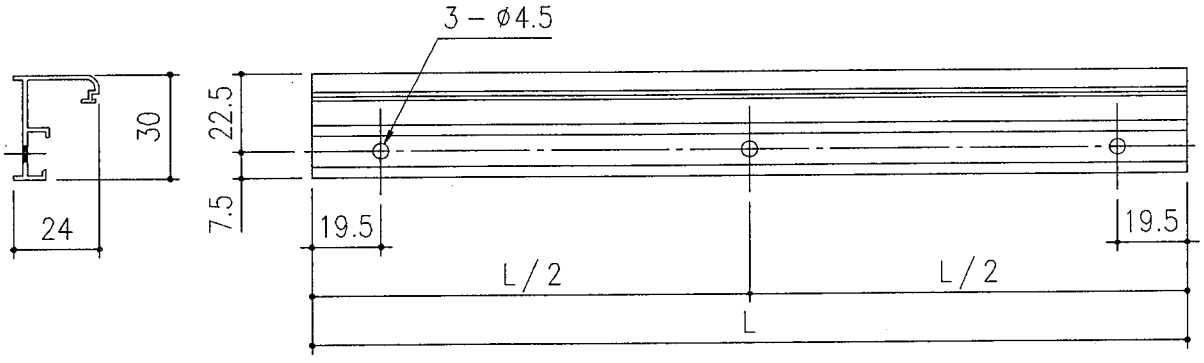
タイプ	公 式
A2,B2	L＝W1－26
B3,H,D	L＝W1－41



加工図 ＜パネル枠＞

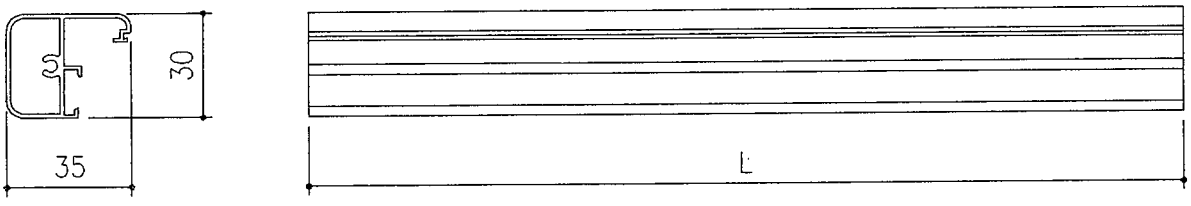
8－7 たて枠（増枠型）

タイプ	公　式
A,D,H	L＝PH－62
A2,B2,B3,H	L＝PH－89



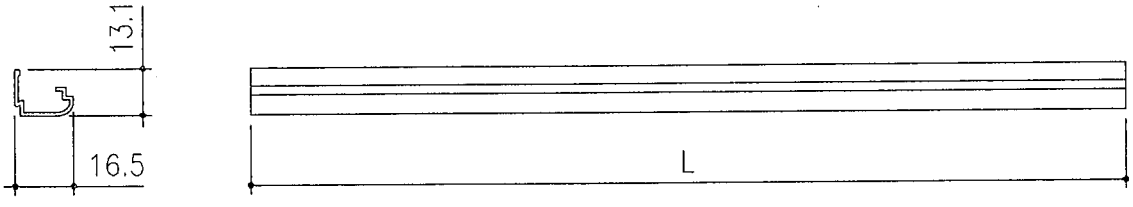
8－8 たて枠（框型）

タイプ	公　式
A,D,H	L＝PH－62
A2,B2,B3,H	L＝PH－89



8－9 押縁

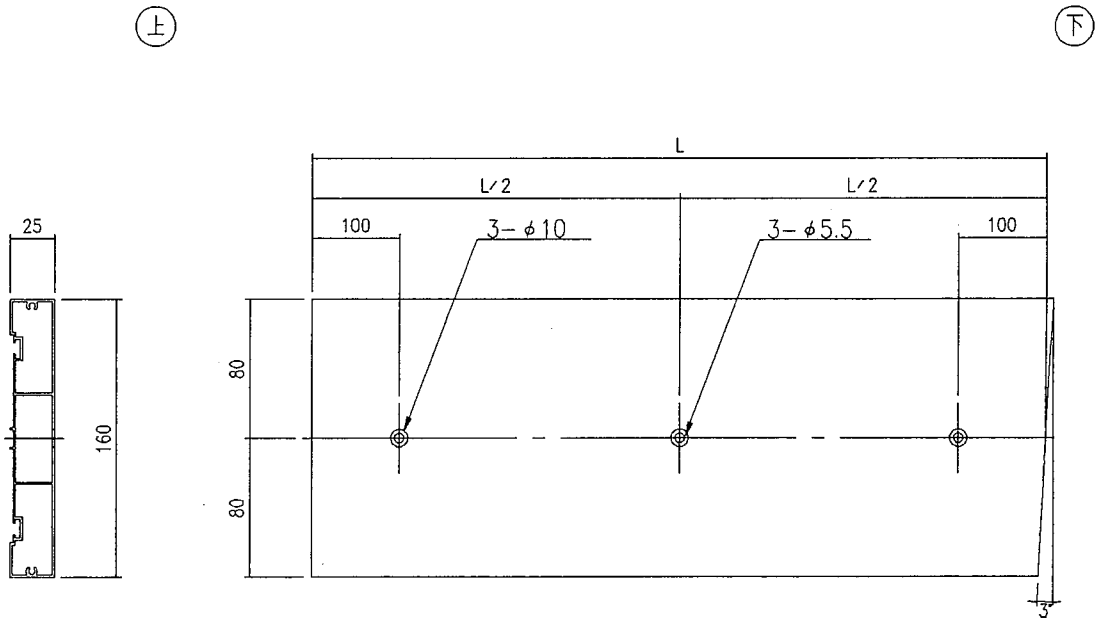
タイプ	公　式
A,D,H	L＝PH－62
A2,B2,B3,H	L＝PH－89



加工図　＜側枠＞

9－1　側枠（左）

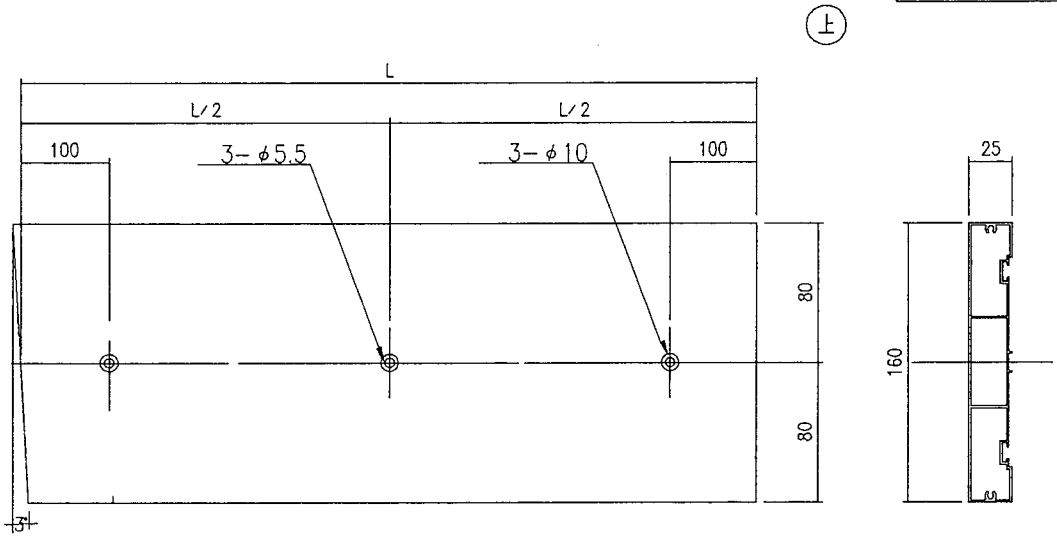
タイプ	公　式
Aタイプ	L＝H－ 50
Bタイプ	L＝H－190



※ 穴明けピッチ Pは　約 500 mm です。

9－2　側枠（右）

タイプ	公　式
Aタイプ	L＝H－ 50
Bタイプ	L＝H－190

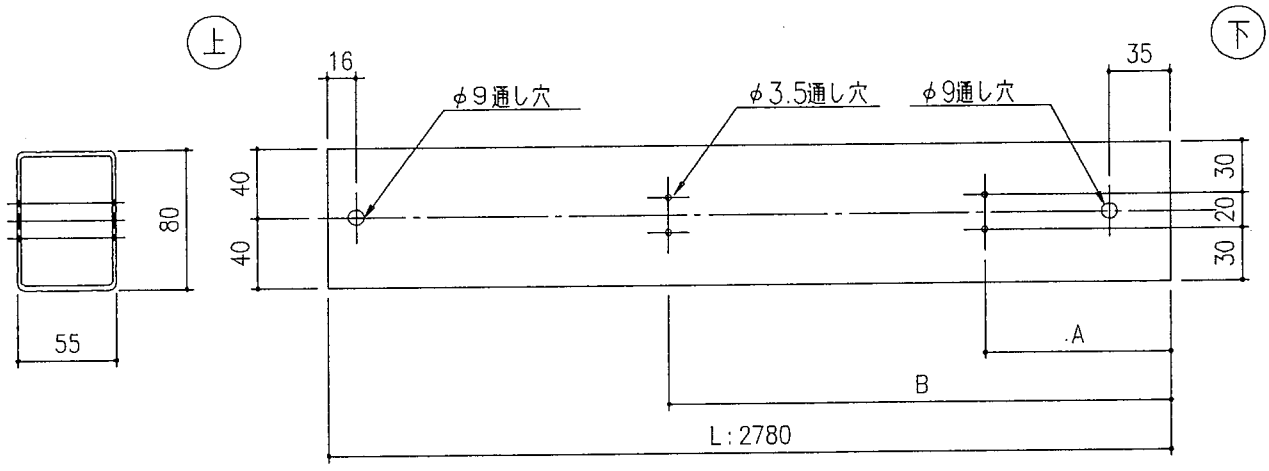


※ 穴明けピッチ Pは　約 500 mm です。

加工図 <方立>

10－1 中間用 方立柱

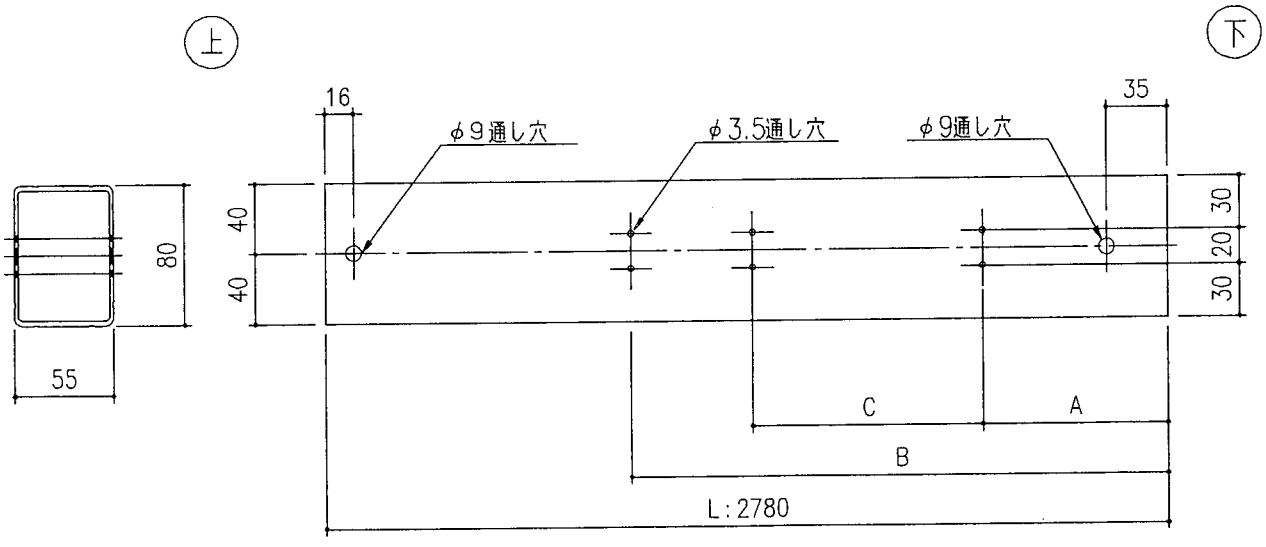
タイプ	A寸法	B寸法
A3タイプ	106	975
Hタイプ	211	1179



＊長さは現場に合わせて切断してください。

10－2 中間用 方立柱

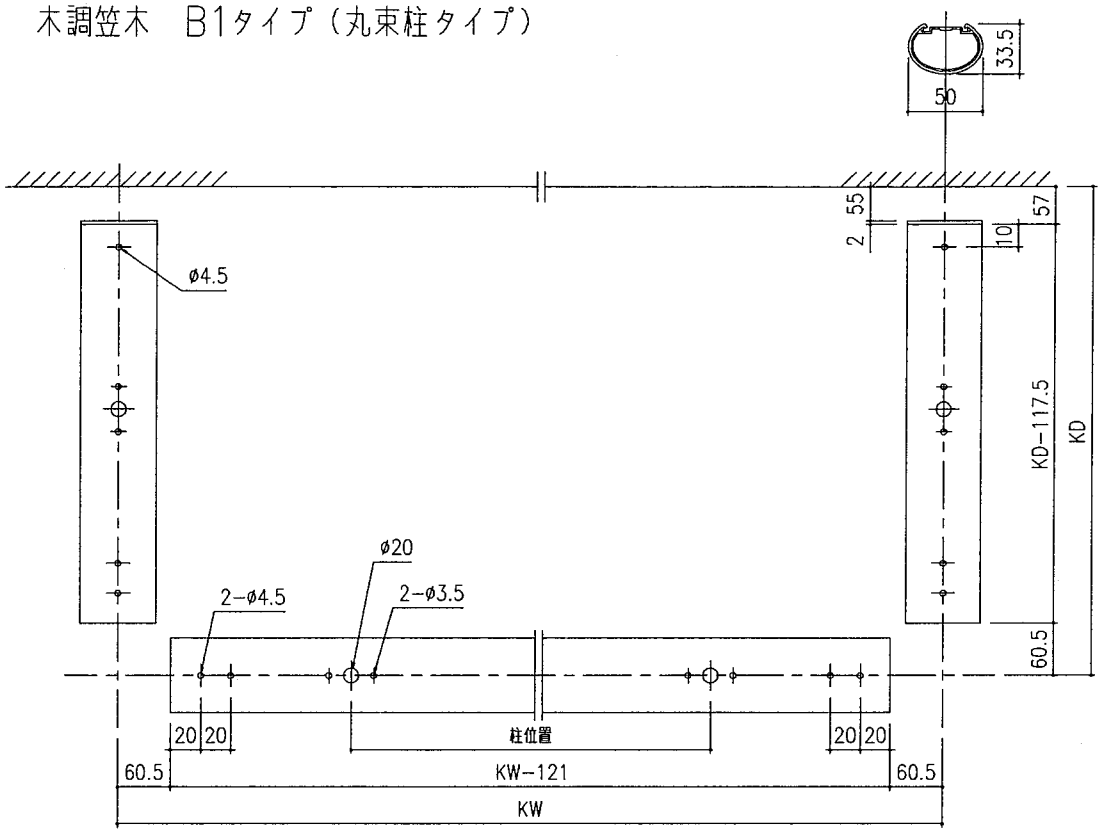
タイプ		A寸法	B寸法	C寸法
B3タイプ	格子	106	975	735
	パネル	106		733
	鋳物	78.5		789.5
Hタイプ	格子	211	1179	835
	パネル	211		833



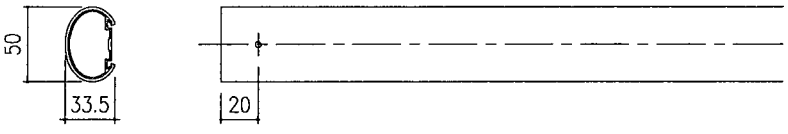
＊長さは現場に合わせて切断してください。

加工図 <木調笠木>

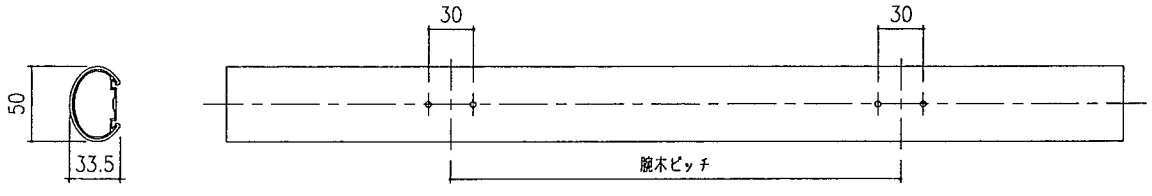
11−1 木調笠木 B1タイプ（丸束柱タイプ）



11−1 木調笠木 ジョイントカバー



11−1 木調笠木 Iタイプ（腕木タイプ）

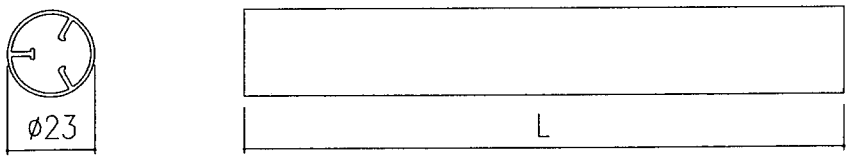


※ エンドキャップ・コーナーブロック・ジョイントカバーはB1タイプと同じ加工です。

加工図 <丸束柱・55角柱・コーナー柱>

12−1 丸束柱（B1タイプ）

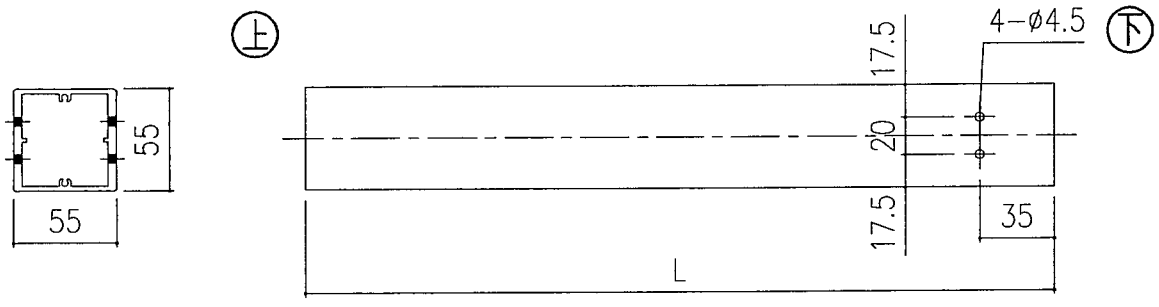
公式
L=H−37



※ 木調笠木の場合、上端より7mm短い寸法になります。

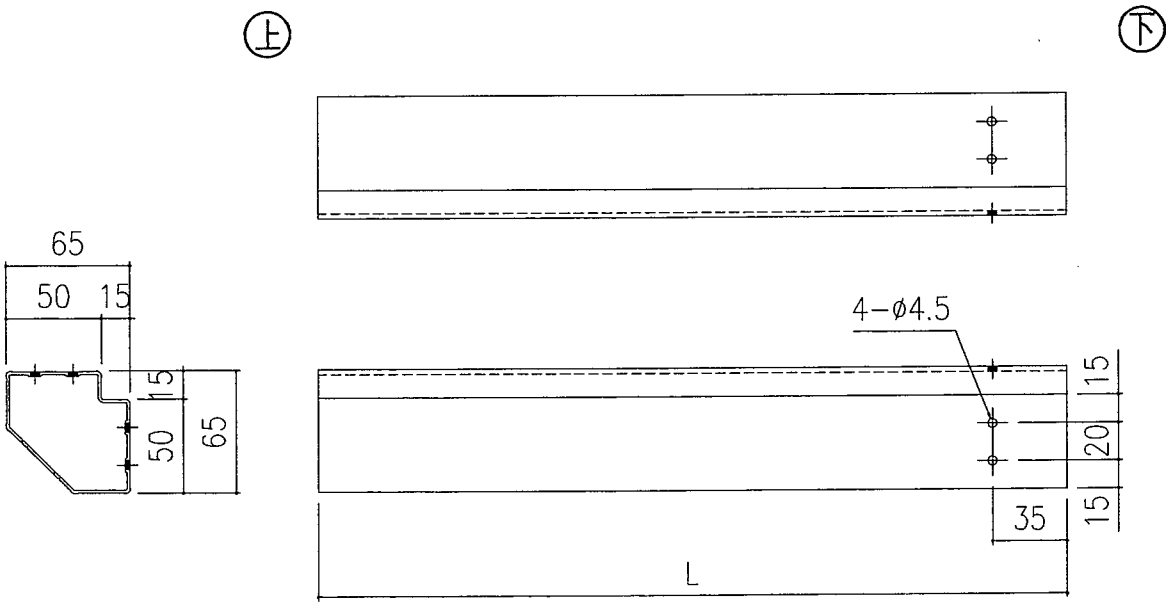
13−1 Hタイプ（直付タイプ） 55角柱

公式
L=H−46



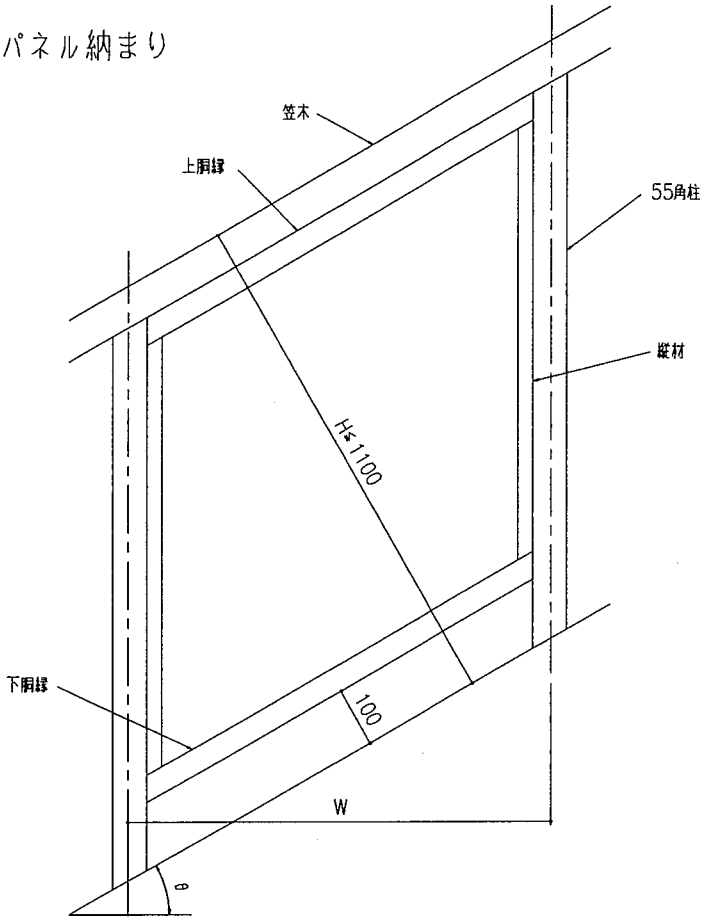
13−1 Hタイプ（直付タイプ） コーナー柱

公式
L=H−46



加工図 <階段用パネル納まり>

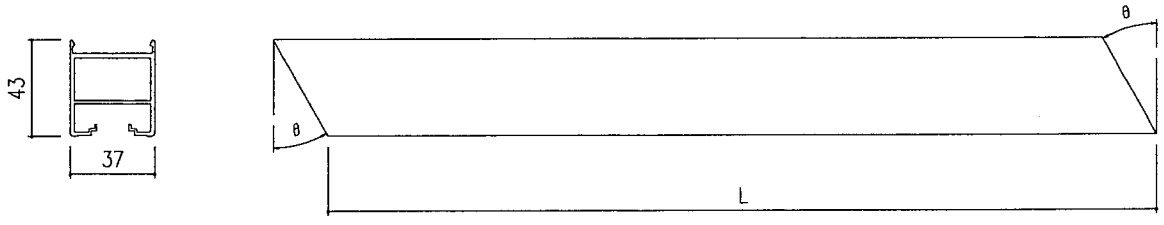
14−1 Hタイプ 階段パネル納まり



W≦1000
H≦1100

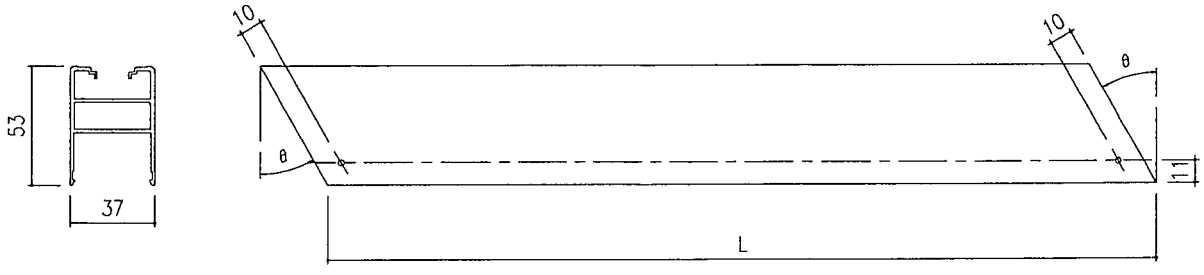
14−2 Hタイプ階段パネル納まり 上胴縁

公 式
L=(W−56)/cosθ



14−3 Hタイプ階段パネル納まり 下胴縁

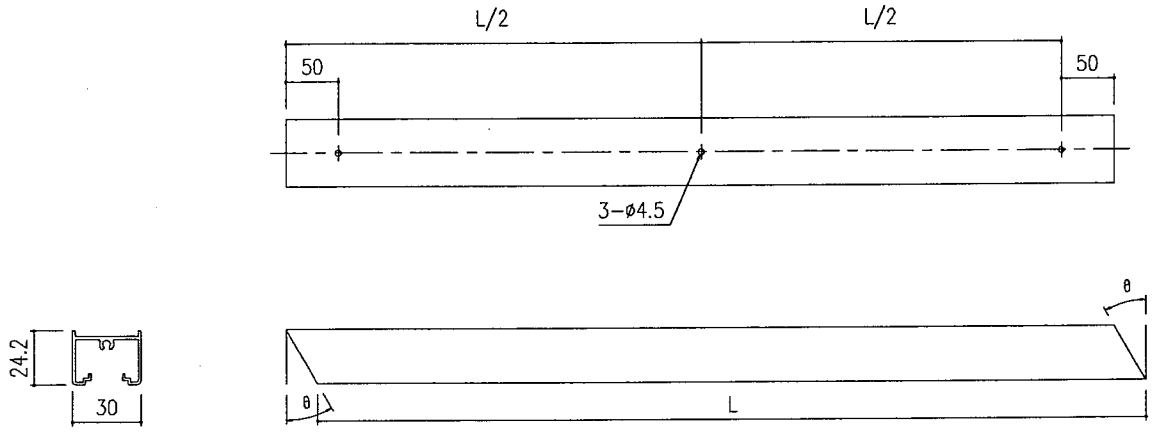
公 式
L=(W−56)/cosθ



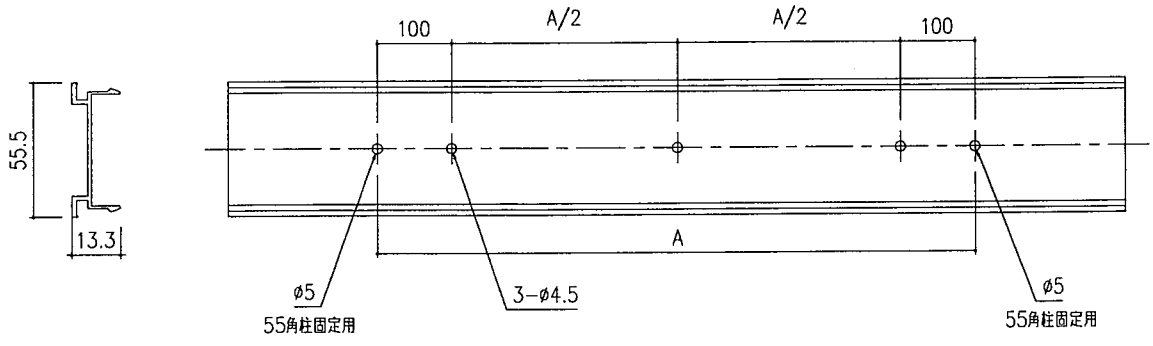
加工図 <階段用パネル納まり>

公　式
L=(H−229)/cosθ

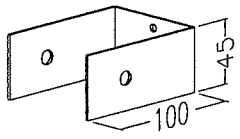
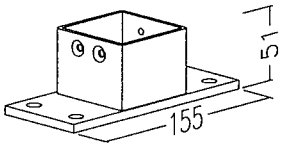
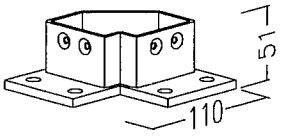
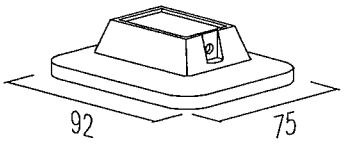
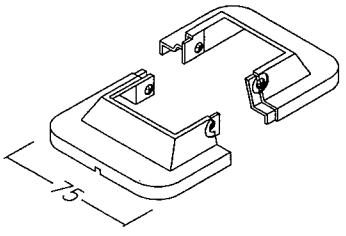
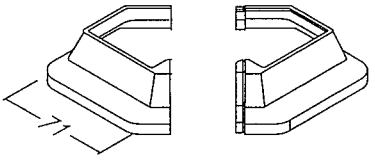
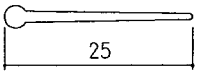
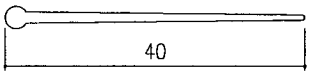
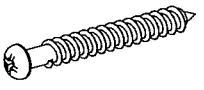
14−4 Hタイプ階段パネル納まり 縦枠（増枠型）



14−5 Hタイプ階段パネル納まり 下胴縁



共通部品

テラス柱取付部品（70角柱用）●JTJTB	柱固定ブラケット（55角柱用）●KTHEB5	柱固定ブラケット（コーナー角柱用）●KTHCB5
 六角ボルトM8X85 2ヶ M8スプリングワッシャー 2ヶ M8ワッシャー 2ヶ 柱固定ブラケット 2ヶ M8袋ナット 2ヶ φ5×65ナベビス 5ヶ M5ワッシャー 4ヶ	 柱固定ブラケット 1ヶ コンクリートアンカーボルト 4ヶ φ5×16皿ビス 4ヶ	 柱固定ブラケット 1ヶ コンクリートアンカーボルト 4ヶ φ5×16皿ビス 4ヶ
柱直付カバー（25×40柱用）●KTHAB3CN	柱直付カバー（40×40柱用）●KTDCB3C	柱直付カバー（コーナー柱用）●KTHCB3C
 柱直付カバー 4ヶ φ4×10トラスビス 4ヶ φ4×13セルフドリリングネジ 4ヶ	 柱直付カバー 8ヶ φ4×13セルフドリリングネジ 8ヶ	 柱直付カバー 8ヶ φ4×13セルフドリリングネジ 8ヶ
ウェザーストリップ AKTPB1	ウェザーストリップ YBBOX39	木ビス50 ●KGBB1
20m巻 	20m巻 	50ヶ入  丸木ネジφ5.1×50